[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	公民館主催事	業			事業期間	昭和	156年度 ~ -	- 年度				•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-1	他に関連する 基本事業	3-1-1	3-4-1				所管課係	公民館管理係
(何のために実施する	プ・サークル活動	カについて、グル	ープ・サークルの	活性化を図りなれ	- して、継続的に学習 がら、誰もが経済力 養の向上や技術の習	等の境遇に左	右されることなく	手段 (どのような方法で 実現するのか)		の学習ニーズに対 レット等により行				ついては、広報すながわ・オアシ る。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	一般市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	講座・教室・講される。	演会への市民の参	加を得ることによ	り、地域課題の角	昇決、市民の教養 (の向上や技術の習得の機会が確保
事業開始時の状況 緯						直しを行いな	がら現在に至ってし	าる。						

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額	, , , , , ,	, , , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0		. , , , , ,		0			, , , , , , ,		0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額			264, 810	264, 810				0					0	264, 810
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
± ≥			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	- #	投 財 源	計画額	416, 000			, ,	655, 000	,	655, 000	.,,	655, 000	655, 000	655, 000	655, 000	2, 620, 000	5, 833, 000
_			予算計上額	416, 000	770, 000		1, 956, 000	655, 000	655, 000		1, 310, 000					0	3, 266, 000
た			実 績 額	206, 000	618, 100	355, 290	1, 179, 390	568, 070			568, 070					0	1, 747, 460
事	事業	費合計		416, 000	416, 000	416, 000	1, 248, 000	655, 000	655, 000	655, 000	1, 965, 000	655, 000	655, 000	655, 000	655, 000	2, 620, 000	5, 833, 000
			予算計上額	416, 000	770, 000	770, 000	1, 956, 000	655, 000	655, 000	0	1, 310, 000	0	0	0	0	0	3, 266, 000
業			実 績 額	206, 000	618, 100	620, 100	1, 444, 200	568, 070	0	0	568, 070	0	0	0	0	0	2, 012, 270
費					講師謝礼 770千円	講師謝礼 770千円		講師謝礼 655千円	講師謝礼 655千円								
~	車業	費予算の		410 + 15	//UTH	770 TH		000711	000TH								
の		内容															
推																	
11年	_			同額	事業拡大(高齢	前年度と同類		市民大学の講師	前任帝同類								
移	<u>*</u>	中マ体 し			者等スマート	削牛皮と同僚		謝礼の減	刑斗及问银								
		度予算と D比較			フォン体験教												
		減理由)			室)による増												
				新型コロナウイ				講師謝礼の減									
	宝结	との比較		ルス感染症拡大 防止対策のため	トフォン体験教	謝礼の減											
		減理由)		事業を中止した	至の執行残												
				ことによる減													
					1			ı			l .	l .					

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:公民館講座等実施回数	指標の求め方:年	度内に実施した市民大学講演会、公民館	講座、公民館教室の開催回	数	
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:公民館講座等受講者数	指標の求め方:公	民館講座等受講者数			
	第1次実施3カ年計画		第2次実施3カ年	計画	第3次実施4カ年計画	第 7 期

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	一画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施 4 カ年	総合計画合計
	1	we state to a	計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	
	指	活動指標 1 (単位/回)	実績値	13 10	15	13		15	13	13		13	13	13	13		
	標	成果指標 1	計画値	300	293	286		279	272	265		258	251	244	237		
		(単位/人)	実績値	61	307	353		386									
		事業の達成度					達成されている										
		事業の成果 (成果指標を	もとに評価)				少し上がっている										
		事業の効率性	ŧ				上がっている										
		総合評価	7 01227				極めて良好である										
事務事業評価	評価内容	理由の実	評価の判断標 またはに関す は積値に関す 己分析	館受問題をはいる。 ・教や和増型スレースといる。 ・教や和増型スルースといる。 ・教や和増型スルースといる。 ・教や和増型スルースといる。 ・教や和増型スルースといる。 ・教や和増型スルースといる。 ・教や和増型スルースといる。 ・教や和増型スルースといる。 ・教や和増工のといる。 ・教・教・教・教・教・教・教・教・教・教・教・教・教・教・教・教・教・教・教	館受回度で公確こなが、教や和増機一て、積るなりで性さかので、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	館受は、大学のでは、大学のいいがは、大学のいいがは、大学のいいがは、はいいは、大学のいいがは、はいいは、大学のはないがは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは	判市館受回度て公確こながとめるたり、数や和増機一て、積る、で断した。というでは、のはれら実いし好判は、数や和増機一て、積る、で断し、数率のはれら実いし好判が、あし、数率のでは、であした。との施年しの度るれ上の極	館受5しのはさかのて 請講年て機一れら実い を 教よりの程をる定て、 額よりの程をるたて、 がも ををでするがと をがしてがと でがとりので でがとりので でがとりので でがとりので でいたがと でいたがと でいたがと ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性	ŧ	25			現状のまま継続	200				210					
	方向 ¹ 改善、 (R5、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		R5: 各種の事業を行 ため、「現状のま	うい、生活文化の技 まま継続」とした。	振興、社会福祉の 。	増進に寄与する	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	出張公民館事	業			事業期間	平成	25年度 ~ —	- 年度					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-1	他に関連する 基本事業				 	所管課係	公民館管理係
目的 (何のために実施するのか)	公民館グループ・ ループ・サークル	サークルと連携 レの学習成果の地	し、公民館へ来館 域還元をすること	が困難な市民に	- 対して学習を始める プ・サークルの活性	るきっかけを提 生化を促す。	供し、公民館グ		公民館グループ・ で講座を開催する			『・南・北地区コミ	ミュニティセンター、町内会館等
対象 (誰・何を対象として いるのか)	公民館への来館だ	「困難な市民						(どのような効果が	ることができる。	プ・サークルにお	 		学習活動をはじめるきっかけを得成果を地域還元することを通し
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成23年度より	事業実施に向けて意	意向調査・調整等	手を行い、平成25年	度より実施し	ている。						

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		計画額	14, 000	14, 000	14, 000	42, 000	14, 000	14, 000	14, 000	42, 000	14, 000	14, 000	14, 000	14, 000	56, 000	140, 000
			予算計上額	15, 000	15, 000	14, 000	44, 000	14, 000	,		28, 000					0	72, 000
		_	実績額	13, 000	15, 000	14, 000	42, 000	14, 000			14, 000					0	56, 000
	道		計 画 額	6, 000	6, 000	6, 000	18, 000	6, 000	-,	6, 000		6, 000	6, 000	6, 000	6, 000	24, 000	60, 000
			予算計上額	6, 000	6, 000	6, 000	18, 000	6, 000	6, 000		12, 000					0	30, 000
			実績額	6, 000	6, 000	6, 000	18, 000	6, 000			6, 000					0	24, 000
	地方	-	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
		_	実績額				0				0					0	0
入	その作		計画額	20, 000	20, 000	20, 000	60, 000	20, 000	,	20, 000	60, 000	20, 000	20, 000	20, 000	20, 000	80, 000	200, 000
₹			予算計上額	24, 000	24, 000	20, 000	68, 000	20, 000	20, 000		40, 000					0	108, 000
			実 績 額	20, 237	24, 000	20, 000	64, 237	20, 000			20, 000					0	84, 237
れ	一般財派		計画額	11, 000	11, 000	11, 000	33, 000	11, 000	,	11, 000	33, 000	11, 000	11, 000	11, 000	11, 000	44, 000	110, 000
た			予算計上額	6, 000	6, 000	11, 000	23, 000	11, 000	11, 000		22, 000					0	45, 000
12			実 績 額	6, 000	5, 600	10, 980	22, 580	10, 600			10, 600					0	33, 180
事	事業費合言		計画額	51, 000	51, 000	51, 000	153, 000	51, 000	51, 000	51, 000	153, 000	51, 000	51, 000	51, 000	51, 000	204, 000	510, 000
			予算計上額	51, 000	51, 000	51, 000	153, 000	51, 000	51, 000	0	102, 000	0	0	0	0	0	255, 000
業			実 績 額	45, 237	50, 600	50, 980	146, 817	50, 600	0	0	50, 600	0	0	0	0	0	197, 417
費				消耗品費51千円	消耗品費51千円	消耗品費 51千 円		消耗品費 51千 円	消耗品費 51千 円								
စ	事業費予算の	の															
0)	内容																
推																	
14				前年度同額	前年度同額	前年度と同額		前年度と同額	前年度と同額								
移	前年度予算と	ے															
	の比較																
	(増減理由))															
		_		±1 /= Th	41 /- 74	47 14		±1 /= ==									
				執行残	執行残	執行残		執行残									
	実績との比較	較															
	(増減理由)	,															

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:講座開催	崔数		指標の求め方:年	F度内に開催した	講座の数をカウン	٢								
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:講座出席	ま 者数		指標の求め方:認	求め方:講座出席者数										
		第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期	
	the at tende	mr o Fr	Mr o trub		the a tribe	mr = m v=	Mr o France		7/5 - /- \	mr o truta	Mr o Fr	775 1 O /= >/=		₩ ^ =1 = =	

				第1次実施	13カ年計画	_		第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		空 7 知
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標 1 計画 (単位/講座) 実系		5 5	5		4	4	4		3	3	3	3		
	指標	2412		0 0	50		40	40	40		30	30	30	30		
	l)K	成果指標 1 計画 (単位/人) 実約					-	40	40	·	30	30		30		
		事業の達成度				あまり達成されていない										
		(活動指標をもとに評	画)													
		事業の成果 (成果指標をもとに評	潘)			あまり上がってい ない										
		事業の効率性	ш/	1												
		(事業費に対する成果				変わらない										
		総合評価				普通である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の料理 理事を の実 を る 自己分析	困域とは、 を を を を を を を を を を を を を	いった。 いっで事、続度するためです。 大きをでき、続度するためをでき、続度するためです。 、続度するたのですでき、はこっ、すであるでは3令座とた適るあがこのですである。 がに、こなとのできない。切こる。	困域提きり館サ成元が義あ年催きの評がが難の供っ、グー果と期深る度すなた価困いな習いたいで事、講こっ、すで域にき業令座とた適るあのでは、ブの域たき業令座とた適るあのでは、では、学に効るで和をでは、するので、 習還果意は5間でこなと 習過果意は5間でこなと 習	困域提きまルル地い待いがに年催きの評が「難の供った一の域っで事、続度すなた価困普な学、か、プ学にたき、令きもるかめの発調なす。 でき、か、プ学にたらでき、今きもるかめのを難るです。 でき、か、習還効るでれ、講こっ、すなで、か、ので、と、会のり館一果とが義あ年和を会から切こかと、自然ので、がりを、期深る度4開でこなと、」	困域提きり館サ成元が義あ年の講こかめを難施舞の供っ、グー果と期深を変をかっ、すで可な学、かまルクというです。 地が開で、切こるなた学、かまルクとでき、地が開で、切こるないで、でいまりでは、から、ないでは、から、ないが、は、ないが、ないないが、ないないが、ないないが、ないないが、ないないが、ないないが、ないないが、ないないないが、ないないないが、ないないないが、ないないないが、ないないないない	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		■ 続的なグループ・ の提供として進め			R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	公民館施設整	備事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	3-3-1	他に関連する 基本事業	3-4-1					所管課係	公民館管理係
目的 (何のために実施する のか)	公民館施設機能を 確保するため。	を維持することに	より、市民一人ひ	とりの学習ニー	ズや地域課題の要請	背に応じた生涯		手段 (どのような方法で 実現するのか)	定期的に施設の4 経済的な費用とな	犬態を点検・記録 なるよう、計画的	して、施設本体、 に改修・管理を行	設備又は備品等 <i>0</i> う。)破損・劣化度を持	巴握しつつ、長期的視点から最も
対象 (誰・何を対象として いるのか)	成果													
事業開始時の状況 緯	!・これまでの経	昭和56年10月14事、平成6年度	日完成、大規模改(屋上防水補修工事、	修については、 ・内部改修工事、	召和56年度排水管制 平成14年度放送設	水扉設置工事、 備改修工事、 ³	、昭和57年度水防対 平成15年度温水ボイ	策設備工事、昭和 ラー改修工事、平	59年度地下書庫改成19年度トイレ改	女修工事、昭和60: 女修工事、平成21:	ーーーー 年度スピーカー取 年度西側外壁塗装	付工事、平成2年 等工事を実施、平	度オイル配管改修 成27年度耐震改修	8工事、平成4年度ポイラー補修工 8工事

[DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道費					0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債					0		188, 500, 000		188, 500, 000					0	188, 500, 000
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	その他					0				0					0	0
₹		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源			5, 500, 000		12, 024, 000	3, 421, 000	29, 000		3, 450, 000					0	15, 474, 000
<i>t</i> =		予算計上額		0	2, 600, 000	2, 600, 000	3, 421, 000			3, 421, 000					0	6, 021, 000
12		実 績 額		0	2, 596, 000	2, 596, 000	2, 871, 000			2, 871, 000					0	5, 467, 000
事	事業費合計		0	5, 500, 000	6, 524, 000	12, 024, 000		188, 529, 000	0	191, 950, 000	0	0	0	0	0	203, 974, 000
****		予算計上額	0	0	2, 600, 000	2, 600, 000	3, 421, 000	0	0	3, 421, 000	0	0	0	0	0	6, 021, 000
業		実 績 額	0	0	2, 596, 000	2, 596, 000		0	0	2, 871, 000	0	0	0	0	0	5, 467, 000
費	事業費予算の				委託料 2,600 千円		修繕料 528千 円 工事請負費									
の	中来員で昇の						工爭明 貝貝 2, 893千円									
推																
移					臨時事業		臨時事業									
移	前年度予算と の比較 (増減理由)															
	実績との比較 (増減理由)	5			入札残		入札残									

78	10K 02 1E	移・評価															
活	動指標	1 (「手段」を	きもとに設定)	指標名:開館日	数		指標の求め方:	公民館の開館日数									
成	果指標	1 (「成果」を	きもとに設定)	指標名:施設機能	能に起因する使用	不能件数	指標の求め方:	年度内における施	設機能が起因して	使用できない件数	枚をカウント						
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	
	指	活動指標 1		359 234		359 359		359 357	359	359		359	359	359	359		
	標	成果指標 1	7.13K III			0		007	0	0		0	0	0			
		(単位/件				0		0				<u> </u>					
		事業の達成	戊度 をもとに評価)				達成されている										
		事業の成界	E				変わらない										
		(成果指標 事業の効率	をもとに評価) ^{変性}														
			対する成果)				上がっている										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	普通である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
马 养 马 莠 記 化	評価内容	総理の	会合評価の判 性由または指 関 実績値に関 り 自己分析	施すなく期守う維涯能の度と機能用案件を受け、のをから、なっている。とれている。これでいる。とれている。とれている。とれている。とれている。とれている。とれている。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これている。これでいないでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる。これでいる	施設機能に起因 するたい はない に は ない の は に に に に に に に に に い の た に の た に れ い の た の た の た の た の た の た の た の た の た の	公民館全館に無セを館に無セと設は、 様はボイスにより、 はボイスにより、 は、 が整備された。	施設機能に起因すなのの一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	地の受部付きない。 東京 はいかい できない できない できない できない できない かいかい できない かいかい できない かいかい できない いいかい できない いいかい かいい できない かいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい か									
		今後の方向	9性				現状のまま継続										
	改割	□性の判断理 ・ 改革の内: ・ R8、R10)	容	破損、劣化頻度?	を把握しつつ、長	■ し、施設本体、設 期的な視点から最 「現状のまま継続	も低廉な費用で	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	読書活動推進	事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-2	他に関連する 基本事業						所管課係	図書館管理係
目的 (何のために実施するのか)	読書の普及・啓乳 な学習活動を支援	êに係る事業を実 髪するとともに図	施することにより 書館の利用拡大を	、読書に親しむ 図る。	- 機会が得られ、子と	きもの読書習慣	の定着化や自主的	手段 (どのような方法で 実現するのか)	・読書推進事業 ・広報活動(広幸 LINEでの周知など	8、社会教育情報	示事業、朗読会、 誌への掲載、館内	リサイクル市など 刊行物、ポスター	<u>:</u>) -、パンフレット。	、ホームページの更新、市公式
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)		D関心を持つ市民 する市民が拡大さ				
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成23年度から	は砂川市子ども読む	書活動推進計画∂	F度よりボランティ)策定した。 5開始し、社会の要								 進事業、平成19年	度からは学校における読書推進、

[DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年合計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費計画額	(3年度)	(4年度)	(5年度)		(6年度)	(7年度)	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)		П
				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地方債計画額				0				0					0	0
投				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0	45.000			0					0	0
れ一般財源計画額	15, 000				15, 000	,	15, 000		15, 000	15, 000	15, 000	15, 000	60, 000	150, 000
を おり	15, 000				15, 000	,		30, 000					0	75, 000
大帆饭	C	0,000			5, 432			5, 432					0	21, 666
事 事業費合計 計 画 額			15, 000		15, 000	15, 000	15, 000	45, 000	15, 000	15, 000	15, 000	15, 000	60, 000	150, 000
予算計上額	15, 000		15, 000		15, 000	15, 000	0	30, 000	0	0	0	0	0	75, 000
業 実績額	C	5, 030	11, 204	16, 234	5, 432	-	0	5, 432	0	0	0	0	0	21, 666
費車業券予算の	消耗品費 15千 円	消耗品費 15千 円	消耗品費 15千 円		消耗品費 15千 円	消耗品費 15千 円								
事業費予算のの内容														
+#-														
推	増減なし	増減なし	増減なし		増減なし	増減なし								
移	垣/収/よし	垣/収/なし	垣滅なし		垣/収なし	垣痕なし								
前年度予算と の比較														
(増減理由)														
		執行残	執行残		執行残									
実績との比較														
(増減理由)														
				<u> </u>	II									

活動指	標 1	(「手段」を	をもとに設定)	指標名:図書館行	「事・展示事業開	催数	指標の求め方:	図書館行事・展示	事業を開催した回	数							
			をもとに設定)		人当たり図書貸出		指標の求め方:年			<u>~</u>							
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	一画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次(10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1	1 計画値	25	25			25	25	25		25	25	25	25		
	指	(単位/回	八根區	52	38			44									
	標	成果指標 1 (単位/冊		3. 9 2. 8		{		4. 0 3. 5	4. 1	4. 1		4. 2	4. 2	4. 3	4. 3		
		事業の達成	人根尼	2. 0	3.1	3.4	達成されている	3. 3									
	ı	事業の成界					あまり上がってい										
		事業の効率					ない										
		(事業費に	対する成果)				変わらない										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	普通である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
務	評価内容	終理のる	⁸ 合評価の判断 理由または指標 D実績値に関す	年度47,646冊であるのに対した。 44,468冊と6.7%市との上がした。 44,40年であたり、 民一人出冊数少しの 日間度より 新型コロックでは 日間度る。 新型コロックである。 日間度を 日間度を 日間度を 日間度を 日間度を 日間度を 日間度を 日間度を	前では、468冊 年8年のには、9年間では、9年間では、9年間では、49年のには、9年間では、9年には、9年には、9年には、9年には、9年には、9年には、9年には、9年に	49,761冊に対 し、52,253冊 5.0%の増と なっており、市 民一人当たりの 年間貸出冊数加 昨年度より増加	市図目とろあとらが数回い 一貫値でいる。 一貫値でいる。 の実は書画開め。 で実は書画開め。 で実は書画開め。 で実は書画開め。 の実は書画催し、つずれ、はつるため。 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	前年度52,253冊 に対し、52,143 冊と0.2%減 にぼ横ばい、 にぼ横ばい、 に間度3.4%に 対し、3.5%と 横ばいだが、 がばいだが、 がばいだが、 がばいだが、									
		今後の方向	向性				現状のまま継続										
改	女善、	生の判断理 改革の内: R8、R10)	容	催数は目標値を」	・ の貸出冊数は目標 に回っており、行 推持する方向で読	事参加者におおむ	₿ね好評であるこ	R8 :				R10 :					

第7期総合計画事務事業進行管理調書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	図書館施設整	備事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	3-3-2	他に関連する 基本事業	2-3-1					所管課係	図書館管理係
目的 (何のために実施する のか)	図書館施設機能を 確保するため。	を維持することに	より、市民一人ひ	とりの学習ニー	ー ズや地域課題の要請	情に応じた社会	教育施設の機能を	手段 (どのような方法で 実現するのか)	定期的に施設の経済的な費用と	状態を点検・記録 なるよう、計画的	して、施設本体、 に改修・管理を行	設備又は備品等 <i>の</i> うう。)破損・劣化度を打	把握しつつ、長期的視点から最も
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市図書館							成果 (どのような効果が 得られるのか)	施設の機能に起	因した事故や苦情	がなくなり、また	こ、予期しない休飢	官の未然防止となっ	3.
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	昭和58年2月1日書館屋上防水改作	日開館、大規模なd 修工事、閉架書庫和	ズ修については、 多動式書架改修コ	昭和62年度地下車 C事、令和2年度小布	庫シャッター! 苛物用昇降機改	取付工事、平成21年 7修工事、空調設備で	度西側外壁塗装等 改修工事、令和4年	工事、平成22年原 度照明LED化改修	要南側外壁等改修: 工事を実施した。	工事、平成25年図	書館空調設備改修	工事、平成28年原	度児童書架改修工事、令和元年度図

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額				0	2, 549, 000			2, 549, 000					0	2, 549, 000
			予算計上額				0	2, 549, 000			2, 549, 000					0	2, 549, 000
			実 績 額	2, 948, 000			2, 948, 000	2, 548, 975			2, 548, 975					0	5, 496, 975
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額		12, 900, 000		12, 900, 000				0					0	12, 900, 000
			実 績 額		12, 100, 000		12, 100, 000				0					0	12, 100, 000
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
₹			予算計上額				0				0					0	0
C			実 績 額				0				0					0	0
れ	- 4	般 財源	計画額		25, 200, 000	5, 000, 000	30, 200, 000	2, 549, 000			2, 549, 000		30, 000, 000			30, 000, 000	62, 749, 000
_			予算計上額		14, 399, 000	0	14, 399, 000	2, 549, 000			2, 549, 000					0	16, 948, 000
た			実 績 額		1, 408, 000	0	1, 408, 000	2, 548, 975			2, 548, 975					0	3, 956, 975
事	事業	美費 合計	計画額	0	25, 200, 000	5, 000, 000	30, 200, 000	5, 098, 000	0	0	5, 098, 000	0	30, 000, 000	0	0	30, 000, 000	65, 298, 000
			予算計上額	0	27, 299, 000	0	27, 299, 000	5, 098, 000	0	0	5, 098, 000	0	0	0	0	0	32, 397, 000
業			実 績 額	2, 948, 000	, ,	0	16, 456, 000	5, 097, 950	0	0	5, 097, 950	0	0	0	0	0	21, 553, 950
費					工事請負費			備品購入費 5.980千円									
,,,		費予算の		2,948十円	14,399千円			5, 980十円									
の	于木	内容															
144																	
推	_				改修工事(照明	- 本語名曲の河		回事始ショニノ	備品購入費(図								
移					以修工事 (照明 LED化) 実施に	工事請負貸の減			偏品期入貨(凶 書館システム更								
		度予算と の比較			伴う増			Z-#/11 7-11	新)の減								
		が起来し															
				繰越明許による	入札による減	当初予定してい		増減なし			1					ľ	
	中结	との比較		増		たシステム更新											
	天祖 (増					事業をR6年度に 先送りしたため											
						元込りしたため											
					L						II .				l	<u> </u>	

41	日保い	胜物	・評価															
7	5動指	漂 1	(「手段」をもとり		指標名:開館日			指標の求め方:図										
F.	 以果指	漂 1	(「成果」をもとり	に設定)	指標名:施設機能	能に起因する使用	不能件数	指標の求め方:年	F度内における施	設機能が起因して	使用できない件類	数をカウント						
							3 力年計画				3カ年計画				3次実施4力年記			第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	1	指	活動指標 1 (単位/日)	計画値 実績値	279 226	.4	277 279		277 276	278	280		280	280	280	280		
	1	1995	成果指標 1	計画値	0	0	0		0	0	C		0	0	0	0		
	F		(単位/件)	実績値	0	0	0		0									
		L	事業の達成度	とに評価)				達成されている										
		L	事業の成果	とに評価)				上がっている										
			事業の効率性 (事業費に対す	る成果)				変わらない										
		i	総合評価					普通である							. =			
	務日	評価 为容	理由ま	評価の判断標 では指標す	な理ど持る ※ に。 新計つ 型ス 影開 で 型ス 影開 で で の を に の を の の を の の の の の の の の の の の の の	整備し、一定程	な施設の保守管 理業務を行うな ど、計画的な維 持につとめてい	令明日本の 和14年度 和15年 中1	イナンバーカードの連携を行い、利便性が向上した。日常	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
			 今後の方向性					現状のまま継続										
	F				R5 :	1.67371	1 / 5 1/ ==	***	R8 :				R10 :				1	
	改	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)				上経過しているこ 、計画的な大規模												

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

(単付:円)

事 業 名	図書充実事業	!			事業期間	昭和	158年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-2	他に関連する 基本事業						所管課係	図書館管理係
目的 (何のために実施するのか)	図書等の必要な資	賢料を適切に収集	、整理、保存しな	がら市民に供し、	· 教養、調査研究等	市民の自主的	学習を支援する。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	利用者ニーズや[存できるように	図書の発刊の状況 したうえ、これら	、蔵書の構成や図 に関して分かりや	図書の利用状況を見 らすく案内・提供で	見据え、計画的に するとともに、利	図書等を整備し、適正に整理・保 用者等からの相談に応じる。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民一般、団体							成果 (どのような効果だ得られるのか)	より多くの市民にる。	に利活用されるよ	うにすることによ	ちり、市民の教養の	の向上や地域課題	の解決に繋がる糸口が見いだされ
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	昭和57年度の図書	書館の開館と同時に	こ事業を実施。										

[DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3力年計画 第3次実施4力年計画 第4年次 第1年次 第2年次 第3年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 合 計 合 計 合 計 合 計 (3年度) (4年度) (5年度) (6年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 方 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 0 予算計上額 2, 156, 000 2, 176, 000 4, 332, 000 4, 332, 000 さ 実 績 額 2, 154, 727 2, 171, 502 4, 326, 229 4, 326, 229 - 般 財 源 計画額 8, 414, 000 8. 414. 000 5, 914, 000 22, 742, 00 6, 724, 000 6, 093, 000 6, 093, 000 18, 910, 000 6, 093, 000 6, 093, 000 6, 093, 000 5, 914, 000 24, 193, 00 65, 845, 000 予算計上額 5, 914, 000 5, 914, 000 6, 203, 740 18, 031, 740 6, 724, 000 6, 093, 000 12, 817, 000 30, 848, 740 実 績 額 5. 914. 000 5. 914. 000 6, 203, 72 18, 031, 721 6, 259, 390 6, 259, 390 24, 291, 111 計画額 6, 724, 00 事業費合計 8, 414, 000 8, 414, 000 5, 914, 000 22, 742, 000 6, 093, 000 6, 093, 00 18, 910, 000 6, 093, 000 6, 093, 000 6, 093, 000 5, 914, 000 24, 193, 00 65, 845, 000 予算計上額 8, 070, 000 8, 090, 000 6, 203, 740 22, 363, 740 6, 724, 000 6, 093, 000 12, 817, 000 35, 180, 740 実 績 額 8, 068, 727 8, 085, 502 6, 203, 72 22, 357, 950 6, 259, 390 6, 259, 390 28, 617, 340 保守委託料 1,650千 保守委託料 1,650千 保守委託料 保守委託料 保守委託料 費 1,940千円 2,460千円 1,829千円 新刊データ委託 264 新刊データ委託 264 新刊データ委託 新刊データ委託 新刊データ委託 事業費予算の の 図書購入費 5,770千 図書購入費 5,286千 264千円 264千円 264千円 内容 図書購入費 図書購入費 図書購入費 推 備品購入費 386千円 備品購入費 890千円 4,000千円 4,000千円 4,000千円 図書館システム 寄付金による増 寄付金による増 寄附金終了によ 保守料値上がり 更新に伴う保守 による増 前年度予算と 保守委託料値上 料値下がりによ の比較 がりによる増 る減 (増減理由) 執行残 執行残 執行残 システム更新に よる保守料値下 実績との比較 がりによる減 (増減理由)

7	自標の計	王 移	・評価															
7	5動指標	票 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:年間貸占	出冊数		指標の求め方:年	F間の貸出冊数									
J.		票 1	(「成果」をもと	に設定)	指標名:図書館	業務に対する苦情	件数	指標の求め方:年	F度間に寄せられ	る苦情件数をカウ	ント							
						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
			舌動指標 1 (単位/冊)	計画値実績値	64, 000 44, 468		65, 000 52, 253		65, 500 52, 143	66, 000	66, 500)	67, 000	67, 500	68, 000	68, 500		
	指標	-	文字位/III/ 或果指標 1	夫粮但 計画値	44, 408	49, 761	52, 253		02, 143	0	0)	0	0	0	0		
			(単位/件)	実績値	1	0	0		0									
			事業の達成度 (活動指標をも	とに評価)				あまり達成されていない										
			事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				少し上がっている										
			事業の効率性 (事業費に対す	る成果)				変わらない										
		ź	総合評価					普通である										
	事務事業評価	5	理由す	平価の判断 または関標 責値に関す	エな二最事お冊飲りの前期に入る。 ててて出と減、館たれて、大塚と、はして質度内がした目が、して間が、していまからはして関係のがあります。 これが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 の	※照明LED化改修工事のため、9月1日~9月30日図書館休館。	エスト、ズミー 大大 に利に に利に に利に できまり に できまり は に し し 貸 と い か は 世 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	間貸度と出 出 は は 11.99% 増 利 は し し し で に し に で に に で に に に に に に に に に に に に に	など、利用者 ニーズに対して 最大限配慮して	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		4	 今後の方向性					現状のまま継続										
					R5 :	u Lamber / In In	+ P · · · · · ·		R8 :				R10 :				<u> </u>	
	改	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			読書ニーズやt 環境を整えてい	地域課題を把握し く。	、市民にとって利	用しやすい読書										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	図書館開館時	間延長事業			事業期間	平成	8年度 ~	— 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-2	他に関連する 基本事業						所管課係	図書館管理係
	通常の開館時間 民の利便性向上に)に図書館の利用	が困難な市民にタ	対して、図書館の開	閉館時間を延長す	する日を設け、	手段 (どのような方法で 実現するのか)	毎週水曜日及び	金曜日(祝日を除	く)の開館時間を	20:00まで2時間	延長。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	通常の開館時間に	二図書館の利用が	困難な市民。					成果 (どのような効果が 得られるのか)	開館時間を延長っきる。	することにより、	その時間帯におけ	る来館者・貸出が	^ド 増加し、図書館の	の利用機会の拡大を図ることがで
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成8年度より、	生涯学習社会の到	来を迎え、市民	こ親しまれ利用しゃ	やすい施設づく	りの一環として	市民の学習意欲に応	えるため、一律午	前10時から午後66	時までだった開館	時間を水・金曜日	の週に2日間、午	後8時までの開館に変更した。

[DO]

実績

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
₹ e			予算計上額				0				0					0	0
٠			実 績 額				0				0					0	0
れ	- #	般 財源	計画額	2, 932, 000	2, 932, 000	2, 932, 000	8, 796, 000	3, 513, 000	3, 513, 000	3, 513, 000	10, 539, 000	3, 513, 000	3, 513, 000	3, 513, 000	3, 513, 000	14, 052, 000	33, 387, 000
_			予算計上額	2, 932, 000	2, 874, 000	2, 948, 000	8, 754, 000	3, 513, 000			7, 399, 000					0	16, 153, 000
<i>t</i> =			実 績 額	2, 814, 712	2, 663, 437	2, 834, 991	8, 313, 140	3, 703, 716			3, 703, 716					0	12, 016, 856
事	事業	美費 合計	計画額	2, 932, 000	2, 932, 000	2, 932, 000	8, 796, 000	3, 513, 000	3, 513, 000	3, 513, 000	10, 539, 000	3, 513, 000	3, 513, 000	3, 513, 000	3, 513, 000	14, 052, 000	33, 387, 000
			予算計上額	2, 932, 000	2, 874, 000	2, 948, 000	8, 754, 000	3, 513, 000	, ,	0	7, 399, 000	0	0	0	0	0	16, 153, 000
業			実 績 額			2, 834, 991	8, 313, 140	3, 703, 716	-	0	3, 703, 716	0	0	0	0	0	12, 016, 856
費					司書報酬 2,438			司書報酬	司書報酬								
, ,	車坐	費予算の		千円 期末毛当 494千	千円 期末手当 436千	2,475千円 脚士手当 473		2,585千円 期末手当 505	2,846千円 期末手当 565								
の		内容		円	円	千円		千円	千円								
144								勤勉手当 423	勤勉手当475千								
推	_			期末手当の増	期末手当の減	報酬単価の増		千円 報酬単価の増、	円 報酬単価の増								
移	J.,			期末于ヨの瑁	期末于ヨの減	報酬単価の増		報酬単価の増、 勤勉手当の増	報酬単価の増								
		度予算と D比較						3,7,6,1,3,5,1									
		減理由)															
	'-																
				時間外未執行に	病気休暇、時間	時間外未執行に		報酬単価の増									
	中结	との比較		よる残	外未執行による	よる残											
		減理由)			残												
					1			U									

Ŧ	標の	E 移	・評価															
7	5動指標	票 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:夜間開館	館実施日数		指標の求め方:年	度内に夜間開館	を実施した日数を	カウント							
Fi	 人民指标	票 1	(「成果」をもと	に設定)	指標名:市民一。	人当たりの夜間開	館時貸出冊数	指標の求め方:夜	間開館時に貸出	した冊数÷年度末	人口							
						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	一画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	ŧ	í	舌動指標 1 (単位/日)	計画値 実績値	97 62		97 93		97 96	97	97		97	97	97	97		
	村	Ę Į	发果指標 1	計画値	0. 15	.{	0. 15		0. 15	0. 15	0. 15		0. 15	0. 15	0. 15	0. 15		
	_	_	(単位/冊) 事業の達成度	実績値	0. 08	0. 11	0. 11		0. 12									
		(活動指標をも	とに評価)				ほぼ達成されている										
		(成果指標をも	とに評価)				変わらない										
		(事業の効率性 事業費に対す	る成果)				変わらない										
		糸	※合評価		4 7 0 15	VIS	+ = 0 K	普通である	± = 0 IS	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	事務事業評価	5	理由言	平価の判断 または指標 責値に関す	が学すくにり数値い時増※イ大 野禮意を完全にがいる。 野禮意をは開入しはこのでは、 大のし型スの 大のに関係されている。 大のに関係されている。 大のに関係されている。 大のに関係されている。 大のに関係されている。 大のに関係されている。 大のには、の保には、の保には、の保には、の保には、の保には、の保には、の保には、の	学すくにり数値い時期を 機会義間開人しにり数値い時期が でいる。 では では では では では では では では では では では では では	が学すくにり数値いい な会議開入しは、日間である、市に実にがなった員績を達ない。 はいばして間にして間には値して間には、日間では、日間では、日間では、日間では、日間では、日間では、日間では、日間で	市の冊時報等は、記のは、記のは、記の世界で、日間数と4年にが冊からして、日間数と4年にが出て、日間数と4年にが出て、日間数と4年にが出て、日間数と4年にが出て、日間数と4年にが出て、日間数と4年にが出て、日間は、記のは、記のは、記のは、記のは、記のは、記のは、記のは、記のは、記のは、記の	学習機会を確高を確高をでは する、市民貸績では にり実 にの に り と に り と に り と に り と に り し し し し し し し し し し し し し し し し し し			刊则4年日,			□ □ □ □		刊前性品	
		4	後の方向性					現状のまま継続										
					R5 :				R8 :				R10 :				1	
	改	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			事業が利用者(継続していく。	に対して認知され	てきていることか	ら当面は事業を										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	子ども読書活	動推進事業			事業期間	平成	23年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	3-3-2	他に関連する 基本事業		-				所管課係	図書館管理係
目的 (何のために実施するのか)	子どもが「いつて 書活動をみんなて	きも」、「どこで き支え、読書を通	も」、「だれでも _. じて子どもが自主!	」読書に親しみ、 的に読書活動が「	- . 読書の大切さを知 できる環境を創出す	1ることができ ⁻ る。	るよう子どもの読	手段 (どのような方法で 実現するのか)	学校における	ト事業実施 動に対する学校、! 読書推進(学校図! 動を支えるボラン	書館支援、授業に	おける図書館利用	「る情報提供や助き 目など)	言等の支援
対象 (誰・何を対象として いるのか)	18歳未満の市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)		に行う子どもが拡; する子どもが拡大				
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成23年度に砂丿	川市子ども読書活動	协推進計画、平成	対28年度に第2次砂川	川市子ども読書	‡活動推進計画、令:	和3年度に第3次砂丿	川市子ども読書活	動推進計画を策定	!し、子ども読書活	舌動に関する事業を	を実施している。	

[DO]

実績

				第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
入	そ の 他	計画額				0				0					0	0
≥		予算計上額				0				0					0	0
-		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	258, 000	258, 000	258, 000	774, 000	245, 000	245, 000	245, 000	735, 000	245, 000	245, 000	245, 000	245, 000	980, 000	2, 489, 000
_		予算計上額	258, 000	237, 000	234, 300	729, 300	245, 000	236, 000		481, 000					0	1, 210, 300
た		実績額	257, 730	236, 764	233, 860	728, 354	244, 662			244, 662					0	973, 016
事	事業費合計	計画額	258, 000	258, 000	258, 000	774, 000	245, 000	245, 000	245, 000	735, 000	245, 000	245, 000	245, 000	245, 000	980, 000	2, 489, 000
		予算計上額	258, 000	237, 000	234, 300	729, 300	245, 000	236, 000	0	481, 000	0	0	0	0	0	1, 210, 300
業		実績額	257, 730	236, 764	233, 860	728, 354	244, 662		0	244, 662	0	0	0	0	0	973, 016
費の推	事業費予算の 内容		消耗品費 258千 円	消耗品費 237千 円	消耗品費 235 千円		消耗品費 245 千円	消耗品費 236 千円								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)			見積人数の減	見込み人数の減		見積人数の増	ブックスタート 見込人数の減						-		
	実績との比較 (増減理由)		執行残	執行残	執行残		執行残									

汩	動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:①子ども読書活動推進事業実施回数、②ブックスタート書籍配布人数	指標の求め方:①対象事業実施回数(48週×1回)、②乳児健診受診者数
成	注果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:児童書の貸出冊数	指標の求め方:年間児童書貸出冊数

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	一		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		沽動指標 1 (単位/①回、	計画値	①48回、②90組	①48回、②90組	①48回、②90組			①48回、②90組	①48回、②90組		①48回、②90組	①48回、②90組	①48回、②90組	①48回、②90組		
	指標	②組)		19.100	①37回、②82組 19.200	①37回、②67組		①29回、②79組 19.400	10 500	19, 600		19, 700	10.000	19, 900	20, 000		
	175	成果指標 1 (単位/冊)	計画値実績値	19, 100	19, 200	19, 300 12, 224		19, 400	19, 500	19, 600		19, 700	19, 800	19, 900	20, 000		
		事業の達成度	大根胆	11, 313	11, 377	12, 224		12, 010									
		(活動指標をも	とに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率性(事業費に対す	る成果)				変わらない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	理由士	F価の判断 たは指標す 値に関 分析	大防止対策によ る臨利用自粛、 覧利用自粛よ り、前年度より 実施回数は減	児数が別ないでは、 ・ では、 ・ で	横ばいだが、児童書の貸出冊おは増工とものは は増子とものはまま動にといる。 書活動についての実績は上がっ	判児出て実て加加か実い間別のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	事業実施の業実になる。事業実施の業体のののでは、、者のののでは、のののでは、ののでは、ののでは、のでは、のでは、のでは、のでは、ので	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
							現状のまま継続										
		フ後の万円性		R5 :				R8 :				R10 :					
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		第3次砂川市子と 動を支えるための	ごも読書活動推進 D連携強化や、子 J、子どもの読書	ども読書活動ボラ	における読書活 ンティアの人材										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	PTA連合会	活動支援事業	ŧ		事業期間	_	年度 ~ —	年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-3	他に関連する 基本事業		-				所管課係	社会教育課社会教育係
			への参加経費を補 全育成を推進する		- 動の向上、活性化 <i>を</i>	を図るとともに	、PTA連合会の	手段 (どのような方法で 実現するのか)	全道PTA研究力	大会への参加経費	など、研修会の参	≩加経費についてネ	制助を行なう 。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市PTA連合	全							全道PTA研究プ A連合会の協力を			化される。また、	青少年の健全育成	を促進する上で、様々な形でPT
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	昭和51年度よりF なお、行政改革に	PTA活動の向上の こより、平成17年原	のために補助金を 度と20年度にそれ	を交付し、現在に至 いぞれ10%の削減を	っている。 行っている。								

[DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
_		実 績 額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
à		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	41, 000	41, 000	,	123, 000	41, 000	,	41, 000		41, 000	41, 000	41, 000	41, 000	164, 000	410, 000
+-		予算計上額	41, 000	41, 000		123, 000	41, 000	41, 000		82, 000					0	205, 000
た		実績額	0	41, 000	41, 000	82, 000	41, 000			41, 000					0	123, 000
事	事業費合計	計画額	41, 000	41, 000	41, 000	123, 000	41, 000	41, 000	41, 000	123, 000	41, 000	41, 000	41, 000	41, 000	164, 000	410, 000
		予算計上額	41, 000	41, 000	41, 000	123, 000	41, 000	41, 000	0	82, 000	0	0	0	0	0	205, 000
業		実績額	0	41, 000	41, 000	82, 000	41, 000	0	0	41, 000	0	0	0	0	0	123, 000
費			補助金 41千円	補助金 41千円	補助金 41千円		補助金 41千円	補助金 41千円								
	事業費予算の															
の	内容															
推																
			同額	同額	同額		同額	同額								
移	前年度予算と		1-3 ыж	1-3 age	1-3 136		1-3 136	1-3 100								
	の比較															
	(増減理由)															
			新型コロナウイ	同額	同額		同額									
	実績との比較		ルスの影響によ り研修会中止と													
	(増減理由)		なり申請がなく													
			支出なし													
							<u> </u>				1					

:I =																	
活里	助指標 1	(「手段	」をもとに設定)	指標名:補助金	額		指標の求め方:年	F間補助金額									
成果	果指標 1	(「成果	」をもとに設定)	指標名:PTA	活動の研修を受け	た人数	指標の求め方:F	TA連合会の研	修会に参加した延	べ人数							
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指		41		l		41	41	4	1	41	41	41	41		
	指標	(単位/	人根旧	_	41	41		41									
	伝	成果指标 (単位/	/	9	9	9		9	9	,)	9	9	ę	9		
		事業の		_		25		٥									
			^{建成度} 指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の (成果指	成果 á標をもとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の3	効率性 (に対する成果)				変わらない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容		理由または指標	ル響がた会神では、まない。 を会たるの各る。 地のの沢たののの沢たのの沢たのの沢たのが では、は、いかに値を保ど安連うと では、日本のの沢たのの沢たのの沢たのの沢たのの沢たのでは、 では、日本のの沢たのの沢たのの沢たのでは、 では、日本ののいまたのでは、 では、日本ののいまたのでは、 では、日本ののいまたのでは、 では、日本ののいまたのでは、 では、日本ののいまたのでは、 では、日本ののいまたのでは、 では、日本ののいまたのでは、 では、日本ののいまたのでは、 では、日本ののいまたのでは、 では、日本ののいまたのでは、 では、日本ののいまたのでは、 では、日本ののいまたのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	値PTMに を連定を 連合金値を を心理に を心理に を心理に をの向と成値 をの向と成値 ををのしたが をの向とので をので をののとので をののに をのに をのに をのに をのに をのに をのに をの	値と乗り、 一条 では、 これ	効率性にく変にといてしていてして変にない。 ではい、、普勝してい、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	値を達成し、 PTA連合会の活 動促進に向け支 援することがで きた。 成果指標は前年	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の	 方向性				現状のまま継続										
		, , ,		R5 :			22 5111 51 51 412 496	R8 :				R10 :				II.	
	改善,	性の判断 、改革の 、R8、R1	内容	PTA活動に関する 者と学校が相互 少年の健全育成	各種研修会等への 連携を深め、PTA決 を推進するために の求めに応じ情報	f動の向上・活性(必要な手段である	化を後押しし、青 ことから、事務										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	乳幼児教育推	進事業			事業期間	平成	13年度 ~	— 年度						·
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	3-3-3	他に関連する 基本事業	1-1-1	-				所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	乳幼児の発達段陥 子育てに関する悩	指に応じた健やか 必みの解消、家庭	な成長に役立つ知記の教育力向上につれ	哉・技能の習得、 なげる。	- 親子同士が交流で	きる機会を設	けることにより、	手段 (どのような方法で 実現するのか)	指導やおもちゃ	を紹介し体験・活	動をしながら、子	こ関する専門的な矢 子育てに関する相談 - ログゲーム・クラ	炎、親子同士での	人達と連携し、様々な遊びの実技 交流活動を行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	乳幼児及びその例	R護者						成果 (どのような効果が 得られるのか)	事業の参加者が れる。	目的に合った事業	であると評価でき	きる内容で事業を持	推進することによ	り、子育てに関する悩みが軽減さ
事業開始時の状況緯	・これまでの栓	平成24年度より	り、スポーツ振興説	具も加わりスポー	-ツ事業を含めた事	業に拡充。ふれ	れあいセンター実	、図書館と連携して 施事業の見直しに伴 「ママさんリフレッ	い、平成28年					

[DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3力年計画 第3次実施4力年計画 第1年次 第2年次 第3年次 第4年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 総合計画 合 計 合 計 合 計 合 計 (3年度) (4年度) (5年度) (6年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 80,000 104, 000 312, 00 80,000 240, 000 80,000 80,000 80,000 320, 00 104,000 104,000 80.000 872,000 予算計上額 104, 000 80,000 80, 000 264, 00 110.000 80.000 190, 000 454, 000 43, 608 実 績 額 71, 400 54, 800 52, 664 178, 864 43, 60 222, 472 方 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 0 予算計上額 さ 実 績 額 - 般 財 源 計画額 54, 000 54, 000 54, 000 162, 00 41,000 41,000 41,000 123, 000 41,000 41,000 41, 000 41,000 164, 00 449, 000 予算計上額 54, 000 41,000 41,000 136, 00 11,000 35, 000 46, 000 182, 000 実 績 額 36. 013 49, 855 39, 602 125, 47 49, 208 49, 20 174, 678 計画額 121,000 1, 321, 000 事業費合計 158, 000 158, 000 158, 00 474, 00 121, 000 121, 00 363, 000 121, 000 121, 00 121.00 121, 000 484, 00 予算計上額 158, 000 121,000 121, 000 400, 00 121,000 115, 000 236, 000 636, 000 実 績 額 107, 413 104, 655 92, 26 304, 334 92, 816 92, 816 397, 150 講師等謝礼 68千 講師等謝礼 44千 講師等謝礼 44千 講師等謝礼 44千 講師等謝礼 38 費 消耗品費 90千円 消耗品費 77千円 消耗品費 77千円 消耗品費 77千円 消耗品費 77千 事業費予算の の 内容 推 事業事業内容の アナログゲー 同額 同額 アナログゲー ム・クラブ実施 ム・クラブ実施 見直しを行った 前年度予算と ため講師等謝礼 予定回数減によ 予定回数減によ の比較 の減 る事業経費減 る講師等謝礼の (増減理由) △22千円 新型コロナウイ 市内講師や市職 近隣市町の講師 近隣市町の講師 ルスの影響によ 員へ依頼したこ へ依頼したこと へ依頼したこと 実績との比較 り事業中止と とによる講師等 や、講師が欠席 による講師等謝 (増減理由) なったため講師 謝礼の減 したことによる 礼の減 等謝礼減 講師等謝礼の減

動指標	1 (「手段」をも	とに設定)	指標名:事業参加	0人数		指標の求め方: 引	事業参加人数	·				·		·		
果指標	1 (「成果」をも	とに設定)	指標名:事業目的	りの達成度		指標の求め方:参	参加者アンケート	で事業目的が達成	されたと回答した	と人の割合						
				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	一画		第 7 ;
			第1年次(3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計合
	活動指標 1	計画値	210	210	210		210	200	200		200	200	190	190		
指	(単位/人)	実績値		145	160		165									
標	成果指標 1	計画値		85	85		85	85	85		85	85	85	85		
	(単位/%)	実績値	100	100	98. 1		99									
	事業の達成原 (活動指標を					ほぼ達成されている										
	事業の成果 (成果指標を	もとに評価)				上がっている										
	事業の効率性					上がっている										
	総合評価					良好である										
			自己分析: 就学前の幼児と 保護者を対象と	新型コロナウイ	自己分析: 活動指標は前年 度より増加した	新型コロナウイ	自己分析: 子育てひろば、 アナログゲー	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	

	指		人) 実績値	123				165									
	標			85		85		85		85		85	85	85	85		
		(単位/	%) 実績値	100	100	98. 1		99									
		事業の達 (活動指	を 標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成 (成果指	t果 標をもとに評価)				上がっている										
		事業の対	加率性 に対する成果)				上がっている										
		総合評価	<u> </u>				良好である										
事務事業評価	評価内容		総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	保し段び機行口染業を標回者く、 と達学の コ感事っ指下加高はを現たのはかた満成を明めないす症の原のは計で、 は果女のに活供新ル響が活値、度情にのでいるが、 は果女のに活供新ルックで減動を型スで減動を型スで減動を型スで減動を型スで減動を支援機のでは、 は果ない。	ル響数指下の足指乳もに関消力提が ・ では標回を環切を対す、を供い ・ では標回を環切を対す、を供が ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では	度も達たがしや内員たい成値加高の保しすやよの成。増て、容をめる。果を者く子護、るのは動いがに設達、指達の、ど者子悩庭がでいる。となりのは動いがに設定、保護の、ど者子俗庭がない。となりでは、関係が表してい難、計、度児持流に解力したを、者化、ム定るし、画参は期つにない。	りのな家上が効はを市住す謝てま、孤が庭にあ事。活内の講正があ事。活内の講正がにで減と育解の教定たにのしび師と縮こ総て消構育の、つ性道用の講正がにで減と合いで減と検討して、向果 て金た在頼師れ路価という。	アムにと計しば参度成値加高の保やす消向供ナ・各し画い定加を果を者く子護、る、上すりつに値が員が上指達の、ど者等の底とすにが、にあ回標成満乳もの育み庭機といたは回す前た計、度児持流に解育をがしたり、は、回り前に計、度児持流に解育をがしたが、と20たは回す前に計、度児持流に解育をがしたは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、ので	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	向性				現状のまま継続										
	改割	可性の判断す き、改革のI 5、R8、R10	理由 为容	の充実を図ること	との進行等により、 とが重要になって、 「現状のまま継続」	きていることから	から乳幼児教育	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	家庭教育セミ	ナー支援推進	事業		事業期間	平成	10年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-3	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	学校・家庭・地域 解消や親同士の3	或が連携した家庭。 交流する機会を設し	教育に必要な知識や けることにより、『	や技能の習得に対 家庭の教育力向。	- 対する活動を支援す 上を後押しする。	るとともに、	子育てのストレス	手段 (どのような方法で 実現するのか)	て、その計画・引	事績に基づき、講	庭の教育力向上に 師謝礼を支出する セミナー、ママさ	こと等により支払	爰する。	学校で実施するセミナーについ
対象 (誰・何を対象として いるのか)	乳幼児及びその船	呆護者						成果 (どのような効果が 得られるのか)	事業の参加者が目る。	目的に合った事業	であると評価でき	そる内容で事業を持	進進することにより	り、家庭の教育力向上の契機とな
事業開始時の状況 緯	・これまでの程	平成10年度からし	平成9年度まで「家」 いきいき家庭セミナ 構成事業として乳幻	一に名称変更	名称で実施 ミから「ママさんリ	フレッシュセ	ミナー」を移行し	t=.						

[DO]

実績

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費		画額				0				0					0	0
			計上額				0				0					0	0
			績 額				0				0					0	0
	道 費		画額	280, 000	280, 000	,	840, 000	265, 000	200,000	265, 000		213, 000	213, 000	213, 000	213, 000	852, 000	2, 487, 000
			計上額	280, 000	279, 000		825, 000	221, 000			487, 000					0	1, 312, 000
			績 額	132, 600	143, 200	169, 342	445, 142	135, 976			135, 976					0	581, 118
	地 方 債		画額				0				0					0	0
投			計上額				0				0					0	0
_			績 額				0				0					0	0
入	その他		画額				0				0					0	0
₹			計上額				0				0					0	0
			績 額				0				0					0	0
れ	一般財源		画額	140, 000	140, 000		420, 000	134, 000	101,000	134, 000	402, 000	107, 000	107, 000	107, 000	107, 000	428, 000	1, 250, 000
+-			計上額	140, 000	141, 000		415, 000	178, 000	,		311, 000					0	726, 000
た			績 額	66, 879	130, 392		324, 441	141, 280			141, 280					0	465, 721
事	事業費合計		画額	420, 000	420, 000	420, 000	1, 260, 000		555, 555	399, 000	1, 197, 000	320, 000	320, 000	320, 000	320, 000	1, 280, 000	3, 737, 000
			計上額	420, 000	420, 000	400, 000	1, 240, 000		399, 000	0	798, 000	0	0	0	0	0	2, 038, 000
業		実	績 額	199, 479	273, 592	296, 512	769, 583	277, 256	0	0	277, 256	0	0	0	0	0	1, 046, 839
費				講師等謝礼 320 千円	講師等謝礼 320 千円	講師等謝礼 300 千円		講師等謝礼 300 千円	講師謝礼 300千								
~	事業費予算の	,		十円 消耗品費 100千				十円 消耗品費 99千	消耗品費 99千								
の	内容			円	円	円		円	円								
+#-																	
推				消耗品費 3千円	日朝	中学校が1校閉		消耗品を削減し	日朝								
移	****			月末四貝 3下口 増	印銀	校したことによ		たことによる消	門館								
	前年度予算と の比較			п		る講師等謝礼の		耗品費の減									
	(増減理由)					減											
				新型コロナウイ	新型コロナウイ	市内講師に依頼		事業未実施や近									
	実績との比較			ルスの影響によ り事業中止と	ルス感染症の影	したことなどに		隣市町の講師へ									
	(増減理由)			り事業中止と なったため講師	響により事業中	よる講師等謝礼の演		依頼したことに よる講師謝礼の									
				等謝礼減	講師等謝礼の減	V 7 1194		減									
						<u> </u>		11			l	l					

Ħ	標の推	移・評価															
汩	動指標	1 (「手段」を	もとに設定)	指標名:事業参加	11人数		指標の求め方:事	事業参加人数									
成	果指標	1 (「成果」を	もとに設定)	指標名:事業目的	的の達成度		指標の求め方:参	参加者アンケート	で事業目的が達成	されたと回答した	-人の割合						
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	一		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1		300		290		290	290	280		50	50	50	50		
	指標	(単位/人)	人根框	135 100	145 100	183 100		255 100	100	100		100	100	100	100		
	אלוי	成果指標 1 (単位/%)		100	92. 4	99. 1		97. 9	100	100		100	100	100	100		
		事業の達成 (活動指標		100	V2. 1	33.1	達成されている										
		事業の成果					変わらない										
		事業の効率	≚性 対する成果)				変わらない										
		総合評価					良好である										
	事務事業評価内容	総理のる	由または指標 実績値に関す 自己分析	学るに得者レな学凝家施新ス事たはたなのた(育及回マシロ智に必がの少ったでした工を興まれた。 大いをは、大いを、大いを、大いを、大いを、大いを、大いを、大いを、大いを、大いを、大いを	ル響数め画た成値た工実よ足庭知保り機うたいセットでは、またいでは、また	度も達たがしや内員たし成値た満家る保り交機。 りのし働加いプに設、。指若、度教識者しをのよりのは働加いプに設、。指若、度教諭者しをのよりでは、は下加高に習心シ堤供では下れていば、計回者く関得身ユすを決したを 者化 ム定る難 画っの、すやの、る行したを	子スのをが効はを市南解交提で率、活内のはすった。つ補、供き性道用及のしび、い助ま隣のしび、近端、近端、近端、近端、近端、近端、近端、近端、近端、近端、近端、近端には、近端には	度も達たがしやてては成値た足庭知護フ流の成。増て、定い難果をが度数満しをよりのは働加い事員るし指若参は育ののツ促りで、この性に下者く関骨身ユすに民か。は下すで関係の、をしたを、者化、つし成、国っ満家る保リ交機	自己分析:	自己分析:	判斷理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向	性				現状のまま継続										
	改善	性の判断理 、改革の内 、 R8、R10)		なっていることだ	■ 向上や子育て支援 のいら、事業内容の とっては社会福祉 する。	充実やママさんリ	フレッシュセミ	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	家庭教育サポ	ート企業推進	事業		事業期間	平成	:23年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-3	他に関連する 基本事業	6-2-1					所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	家庭教育を支援す 庭・地域・企業の	けるための職場環 D連携により安心	境づくりに取り組む 安全なまちづくり	む企業等と連携 を推進する。	を深め、家庭教育の)推進を図ると	ともに、学校・家	(どのような方法で	など家庭教育を		掲環境づくりに取			、安全安心な地域づくりへの協力 ポート企業」として登録をしてい
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内各企業等							成果 (どのような効果が 得られるのか)	企業と連携した	家庭教育の支援の)取り組みを行うこ	ことで、子どもをi	育てるよりよい環	竟づくりが推進される。
事業開始時の状況 緯					が開始され、亀谷建 台し、53社が登録し		い以降4社が登録し	た。						

[DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
美 積 額				0				0					0	0
れ一般財源計画額				0				0					0	0
予算計上額 宝 縛 類				0				0					0	0
大帆帜				0				0					0	0
事業費合計 計 画 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費														
事業費予算の														
の内容														
1/4														
推														
移														
前年度予算との比較														
(増減理由)														
								1					1	
実練しの比較														
実績との比較 (増減理由)														

Ŧ	裸の	移・言	半価														
7	動指標	₹1 (「	手段」をもとに設定)	指標名:家庭教	育サポート企業の	数	指標の求め方:登	登録数									
J.	 人	₹1 (「	成果」をもとに設定)	指標名:企業と(の連携事業数		指標の求め方:年	F間延べ回数									
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	扫	/ 11	計標 1 計画値 位/社) 実績値	94 94	.4			94 91		94		94	94	94	94		
	村	成果	指標 1 計画値	15	.1			15		15		15	15	15	15		
		_	位/事業) 実績値		25	24		20									
		(活	の達成度 動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
			の成果 果指標をもとに評価)				少し上がっている										
			(の効率性 業費に対する成果)				変わらない										
		総合	ì評価				良好である										
	(事業費に対する成果) 総合評価 「長型」 「関係を表現した。」		画な新ル響験上め該はま問知を表し、当なで、当なで、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので	の画回新ル響もし支をき計たま事るかなや廃値っ型スが、て援行、画。た業との場合で、実施の水画で、ボーとたり審整のの水画で、大きの水道を取りませたり、一つのが連角をは、一つのが連角をで、大きので、大きので、大きので、大きので、大きので、大きので、大きので、大きの	度計ば成生体学の企展をま度にのし訪されている。 と画な果の験生受業開上た以全訪、問変値にも環場動職等連、つ今4録を能たら1たは見や場、携計た和年企計な職等連、一条4録を能たる。 という ・ 中験録で値 年りへ り場	は、直接をきない、直接をきない、良野生のなどにというできない、良野断になったが、はいまないが、はいまないが、はいまないが、はいまないが、はいまないが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これ	件値た成もや体登し画た前き録し、計画の ど動場、携計 続登 中間の がり いっぱい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
		今後	の方向性				現状のまま継続										
				R5: 共働き世帯の増加	加により家庭の教	育力低下が社会的	1な課題となって	R8 :				R10 :					
	改		判断理由 革の内容 R10)	いる中、家庭教育 育に協力的である 深めることが重要	加1をより家庭護者が長途と担うたと担う保護者が長さと、企業を持ち、企業をからまま継続」と	多くの時間を過ご 政が家庭教育支援 、さらなる事業の	『す職場が家庭教 『について連携を										

第7期総合計画事務事業進行管理調書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	ジャリン子る	れあい体験学	学習推進事業		事業期間	平成	13年度 ~ -	- 年度		-				
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	3-3-4	他に関連する 基本事業			-			所管課係	社会教育課社会教育係
目的(何のために実施するのか)	市の地域資源を活図る。	舌かした様々な自	然体験学習を通し	て家庭の教育力に	- 向上やたくましく主	E体的に活動す	る子どもの育成を	手段 (どのような方法で 実現するのか)		活動支援が 対定する。	施設ネイパル砂川	や砂川遊水地管理	里棟等と連携しつ	編成し、事業の実施主体となっ つ、子どもが継続的かつ主体的に
対象 (誰・何を対象として いるのか)	幼児、小学生とそ	その保護者						成果 (どのような効果が 得られるのか)	事業の参加者が目的に合くましく主体的に活動す			る内容で事業を推	進進することによ	り、家庭教育の充実や子どもがた
事業開始時の状況 緯	記・これまでの経	平成26年度より 令和3年度は従	自然体験事業として	て子どもの国やオ 日季体験塾に加え	新たな試みとしと	砂川の自然を決	舌かした活動内容と		中止した。また秋体験塾	の事業内容	ドに木育を行うこ	ととした。		

[DO]

実績

						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	Ĭ	費	計 画 額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	道	Ĭ	費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	地	方(債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	の f	他	計画額	76, 000	76, 000	76, 000	228, 000				0					0	228, 000
± ≥				予算計上額	76, 000	36, 000	0	112, 000				0					0	112, 000
				実績額	0	35, 212	0	35, 212				0					0	35, 212
れ	- ;	般 財 湯	源	計画額	20, 000	20, 000	20, 000	,	20, 000	,	20, 000		20, 000	20, 000	20, 000	20, 000	80, 000	200, 000
4				予算計上額	20, 000	20, 000	19, 184	,	20, 000	20, 000		40, 000					0	99, 184
た				実績額	19, 644	19, 812	20, 077	59, 533	20, 102			20, 102					0	79, 635
事	事業	き費 合き	計	計画額	96, 000	96, 000	96, 000	288, 000	20, 000	20, 000	20, 000	60, 000	20, 000	20, 000	20, 000	20, 000	80, 000	428, 000
				予算計上額	96, 000	56, 000	19, 184	171, 184	20, 000	20, 000	0	40, 000	0	0	0	0	0	211, 184
業				実績額	19, 644	55, 024	20, 077	94, 745	20, 102	0	0	20, 102	0	0	0	0	0	114, 847
費					講師謝礼 50千	講師謝礼 10千	消耗品費 20千		消耗品費 20千	消耗品費 20千								
,,,,	車業	費予算の	σ		円 消耗品費 46千	户 消耗品費 46千	Ħ		H	H								
の		内容	"		円	円												
144																		
推			_		事業内容の見直	= 単位本部4 カレンボ	事業内容の見直		同額	同額								
移	J				事業内容の見直 しを行ったため		争未内谷の見直しのため事業経		印积	问領								
		度予算る	اع		事業経費の増		費の減											
		減理由))															
					新型コロナウイ	同額	同額		同額									
	中结	との比輔	由六		ルスの影響等に													
	天祖 (増	減理由)	*X)		より事業中止と なったため事業													
					経費の減													
									I			I						

活動	指標	(「手段」	」をもとに設定)	指標名:事業参加	11人数		指標の求め方: 導	事業参加人数									
成果	指標	I (「成果」	」をもとに設定)	指標名:事業目的	内の達成度		指標の求め方:信	保護者向け参加者	「アンケートで事業	目的が達成された	たと回答した人の	割合					
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3 次実施4カ年記	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計画
	-41	活動指標 (単位/	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	170	170)	170		160)	160	160	160	160		
	指標	成果指標	票1 計画値	69 100	109 100	100)	124 100	100	100)	100	100	100	100		
		(単位/ 事業の過	人根框	100	100	98		100)								
		事業の原	標をもとに評価) 成果 標をもとに評価)				ほぼ達成されている 変わらない										
		事業の対					変わらない										
		(事業費総合評価)	に対する成果) 西				良好である										
事務事業評価	評価内容		総合評価の判集 理由または関す の実績値に関す る自己分析	方中育ちく高たのきがボ動が新ルス・カー育ちく高たのきがボ動が新ルとで力の生ま、今た地ラのっ型スの、として力の生ま、会が地ラのっ型スを持ついる。 しょう はいりょう はいりょう かいがい しょう はいりょう はいり はいりょう はいり	ル響も回しは回指達のく習のた的どる 感が完全。画が計画をはした日連奇にもこ 感が定事。画が計、度然し力し動育が にはした日連高音にある にはした日連高音にある にはいたのが年実指下成値加高験家上主るをき を教も通業、種類を関するできる。 を教も、種類を関するできる。 を教をは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	度もをた内員た成い成値た満自通力した値つム定る達し 密をめす。果をが足然し向くよの達。容をめす。果をが足然し向くけで設計る。 標干 参は験家や体の上では、 は下加高学庭た的は、 は下加高学庭た的のは、 ないの違い。 は かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かい	効はを減しを評あるに、それでして路価をでして路価をいいまは」といまな、「と判断をはい、と判断をいいまな」を発信していまなが、と判断といいまない。と判断といいといいといいといいといいといいといいといいといいといいといいといいといい	ていしいち止数た標成成値者く習教子でいしいち止数た標は現実をの、を育どいます。 いっぱい ていい ていい ていい でいい でいい でいい でいい でいい でいい でい		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後のブ	方向性				現状のまま継続										
	方向 改善 (R5	性の判断: 、改革の 、R8、R10	理由 内容 0)		ながわ子どもセン 実した事業内容と	ター協議会の体制	の維持を図ると	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	子ども会育成	団体連絡協議	姜会推進事業		事業期間	平成	13年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	3-3-4	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
			るとともに、地域 着心を持つ子ども		- 現しみながら、屋タ	ト活動に意欲的	に取り組める活動	手段 (どのような方法で 実現するのか)	に周知し実施す 業の企画・運営	る屋外活動事業を	主催する砂川市子			とより、広く市内の幼児・小学生 事業費の補助を行うとともに、事
対象 (誰・何を対象として いるのか)	幼児・小学生							成果 (どのような効果が 得られるのか)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					可能な限り多くの子どもが参加す への愛着心を育むことにつなが
事業開始時の状況 緯	・これまじの栓	その際、それまつ		子ども会への補助	運営する事業として 1金は廃止し、その 010%を削減した。					ミ行委員会に対して	補助金を交付し	tc.		

[DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
道	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
地	方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入そ	の他	計画額				0				0					0	0
₹ e		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ ー +	般 財源	計画額	162, 000	162, 000		486, 000	162, 000	,	162, 000	,	162, 000	162, 000	162, 000	162, 000	648, 000	1, 620, 000
<i>t</i> =		予算計上額	162, 000	162, 000		486, 000	162, 000	,		324, 000					0	810, 000
		実績額	0	123, 201		285, 201				162, 000					0	447, 201
事事業	業費合計	計画額	162, 000	162, 000	162, 000	486, 000		102,000	162, 000	486, 000	162, 000	162, 000	162, 000	162, 000	648, 000	1, 620, 000
		予算計上額	162, 000	162, 000	162, 000	486, 000		162, 000	0	324, 000	0	0	0	0	0	810, 000
業		実績額	0	123, 201	162, 000	285, 201		0	0	162, 000	0	0	0	0	0	447, 201
費			補助金 162千円	補助金 162千円	補助金 162千円		補助金 162千円	補助金 162千円								
	美費予算の															
	内容															
144																
推			同額	同額	同額		同額	同額								
移			问	印积	问領		印銀	川								
	度予算と の比較															
	9減理由)															
			新型コロナウイ	事業実施に向けて	同額		同額									
± 4±	ŧ Ι. Φ ΙΙ. ##		ルスの影響により事業が中止と	準備を進めていた	i-3 ask		1-3 age									
美額	責との比較 曽減理由)		り事業が中止と なり申請がなく	か、新型コロナウ イルス感染症の影												
(%)			士山 451	昔により中止のに												
			~~ ~ ~	め減			1									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:事業参加人数	指標の求め方:育成者、地域ボランティアなど事業の運営に参画した者の人数
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:事業参加人数	指標の求め方:事業参加人数

						第 1 次宝성	3 力年計画		■	第 2 次軍権	3 力年計画			一	3次実施4力年記	+両		II
				第 1	年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		-	40	40			40	L	40		40	40	40	30		
	指標	(単位/人	7,170			_	16		14									
	徐	成果指標 (単位/人		:: 	280	{	270 115	4	270 140	270	260		260	260	250	250		
		事業の達用	, X132	1世	_	_	115		140									
		(活動指標	でをもとに評値 である。	<u>f</u> i)				あまり達成されていない										
		事業の成果	果 票をもとに評価	E)				あまり上がってい ない										
		事業の効果		11)														
			対する成果)					変わらない										
		総合評価						問題がある										
事務事業評価	評価内容	到 0	里由または指	連めと参一業向がウのどがた機うをに実で新ル響会止、	会交会、呼会施あ型スこ育と各る相流と幅びしすっコ感よ成な指実しすっコ感よ成な指集のな広かたるた口染り事っ標績のたるくけ事方。ナ症子業たに値	連めよ加堂を準たナ症事な指標のようをに実施が、一般が大きに実施が、一般がたに実施が、の影がたに実施が、の影がたいまが、となり事との対して、対している。となり、をはいる。となり、をはいる。となり、をはいる。	あった。	ル響中動標でど迷タテ少務し画維困て題感に上間標をは、のスラに、がまな会伴ファの事連すとるないまたは、ない活い・とお負業営るなたるといっての事連すとるなたる、といれば、といれば、からである。 いっぱい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまいが という はいかい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい	にはく地ア徒実で少の化忙成値とよ計下域やの協き方述、化果をは動をたが三族とこ 子の者による職を子遊、小方護ど標成後な持続を表す。 くり しょう しょう いっぱい とり いっぱい という いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっ	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方[向性					現状のまま継続										
	改善、	生の判断理 改革の内 R8、R10)	容	子どもだ り企画 向性に 携し事	が参加する 継続した 運営体制 ついては	る事業となっていいところを維持することが 「現状のまま継続 「軽減を図りなが	■ 事業・事業・事業・事業・事業・事業・事業・事業・事業・高のでは、 でいる をいまる タッカ といっています できまれる おりまれる おりまれる おりまれる ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる	ン子夏祭り)と ィアの減少によ いる。今後の方 の関係機関と連	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	国際交流推進	事業			事業期間	平成	13年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-4	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	地域人材を活かし	_ン 海外の文化・風	習・言語に親しみ	、国際社会への卵	- 興味・関心を持たせ	る。			隣のALTや砂Ϳ		部等の協力を得て		交流ふれあい委員会	会」を組織し実施主体となり、近
対象 (誰・何を対象として いるのか)	小学生								参加者が楽しく参になる。	参加できたと評価	できる事業を展開]することにより、	海外の文化・風習	習・言語に興味・関心を持つ契機
事業開始時の状況 緯					子目的に2泊3日の ESS部が参画して		§業が始まりで、平	ズ成14年から16年ま	では、北海道大学	学留学生を対象に副	事業を行い、平成	17年度からは、死	∮川市のALT(英	語指導助手)や近隣市町のALT

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
\$			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	一 角	投 財 源	計画額	67, 000	67, 000	67, 000	201, 000	67, 000	,	67, 000	201, 000	67, 000	67, 000	67, 000	67, 000	268, 000	670, 000
た			予算計上額	67, 000	67, 000	67, 000	201, 000	67, 000	,		132, 000					0	333, 000
12			実 績 額	35, 712	49, 376	50, 685	135, 773	52, 838			52, 838					0	188, 611
事	事業	費合計	計画額	67, 000	67, 000	67, 000	201, 000	67, 000	0.,000	67, 000	201, 000	67, 000	67, 000	67, 000	67, 000	268, 000	670, 000
			予算計上額	67, 000	67, 000	67, 000	201, 000	67, 000	65, 000	0	132, 000	0	0	0	0	0	333, 000
業			実績額	35, 712	49, 376	50, 685	135, 773	52, 838	0	0	52, 838	0	0	0	0	0	188, 611
費		w = ~ ~ -		千円	千円	講師等謝礼 21 千円		講師等謝礼 21 千円	千円								
の		費予算の 内容		消耗品費 46千 円	消耗品費 46千 円	消耗品費 46千 円		消耗品費 46千 円	消耗品費 46千 円								
推		770															
移				講師等謝礼の減 △1千	同額	同額			講師等謝礼の積 算方法変更によ								
	σ.	度予算と D比較 減理由)		円 円					る滅								
		との比較 減理由)		新型コロナウイ ルスの影響にし り内容を変更し て実施したた 事業経費の減	新型コロナウイル ス感染症の影響に より事業内容を変 更したため講師等 謝礼の滅	事業内容変更の ため消耗品費の 減		参加講師滅によ る講師等謝礼の 滅									

1	旨標の	推移·	・評価															
;	舌動指	漂 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:事業参加	加人数		指標の求め方:引	事業参加人数									
J	 大果指	漂 1	(「成果」をもと	に設定)	指標名:事業の	満足度		指標の求め方:参	参加者アンケート	で「とても楽しか	った」、「楽した	かった」と回答し	た人の割合					
Ī						第1次実施	B3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	一		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
			舌動指標 1	計画値	90				90	90	90		80	80	80	80		
	1		(単位/人)	実績値計画値		28			52 100	100	100		100	100	100	100		
		PX	战果指標 1 (単位/%)	実績値		96. 4	100		100	100	100		1	100	100	100		
			事業の達成度 活動指標をも					あまり達成されていない										
		事	事業の成果 成果指標をも					少し上がっている										
		事	事業の効率性					変わらない										
								普通である										
	事		い的も事い新ル響事内のな指実績を発金と業るの運良さ ナ症メリー変実た該は会画ね開 口染り中変実た該はの運良さ ナ症メル更施め当ないにでいます。標準を表示に値はと、すいしと、すいのでは、ないのでは、からないではいいでは、からないでは、のはないでは、ではないではないでは、のはないでは、ではないでは、ではないでは、ではないではいいでは、ではな	ルスのでは、 ではりるできます。 ではりるできます。 ではりるできます。 ではりるできますが、 ではりるできますが、 ではりるできますが、 ではりるできますが、 ではりるできますが、 ではなりできますが、 ではなりできますが、 ではなりできますが、 ではなりできますが、 ではなりできますが、 ではなりできますが、 ではなりできますが、 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではなりではない。 ではないない。 ではないない。 ではないない。 ではないないない。 ではないない。 ではないないない。 ではないないないないないない。 ではないないないない。 ではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	度もをた内員た成い成値国化で興たよの達。容を討す。 指達と人に国味らればりている性が、見たが、関係の成びには計画の 標成交れ社関ことのでは、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	効はでは、 なでして路価したいまえ、 を変して路価は、 とないまえ、 とないまえ、 とないまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまる。 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまる。 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまる。 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまえ、 といいまる。 といいまえ、 といいまえ、 といいまる。 といる。 といる	に定活値と各る海れす定成値者くとは、一定活値と各る海れす定成値者とは回申外外る事し指達満国りては東で、人業で標成足際が立り、大学で標成足際は、一般が超りに交しる計参れとといいました。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:			
1		2	 う後の方向性					現状のまま継続										
	H		7.皮切刀凹注		R5 :			ガハツょよ松 杌	R8 :			l	R10 :					
	改	善、	の判断理由 改革 の内 容 R8、R10)		人と豊かにふれる 国際交流ふれあり	学習が行われてい あえる事業を展開 い委員会が主体的 現状のまま継続」	していくために、 に企画運営できる	主催団体である										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	放課後子ども	教室推進事業	ŧ		事業期間	平成1	19年度 ~ -	- 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-4	他に関連する 基本事業	1-1-3	6-2-1				所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	子どもたちの安全 地域住民との交流 づくりを推進する	た等の取り組みを!	を設け、地域の方 実施することによ	々の参画を得て. り、子どもたち:	- 、子どもたちととも が地域社会の中で、	に勉強やスポー 心豊かで健やが	行政、学校、地域住民、学童保育関係者などにより組織された運営委員会で事業計画を策定し、コーディネーター(生 まうな方法で 通学習アドバイザー)を中心に地域住民や保護者を指導員に迎え、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流を実 施する。また、学童保育と連携して実施することにより、全児童を対象とした事業とする。							
対象 (誰・何を対象として いるのか)		教室は、集合学 各小学校の児童	習として全児童を を対象とする。	対象とする。					む事業参加者が目 場所の確保につな		推進されていると	:評価できる事業?	を展開することにより、放課後の	
平成17年度から平成18年度までの2ヵ年、「地域子ども教室」として公民館にて「すながわ子ども教室」を実施していた。 事業開始時の状況・これまでの経 韓 本業開始時の状況・これまでの経 は 本文の2 方に 地域子ども教室」を見き続き実施するとともに、交流センターに来ることが難しい空知太小学校と豊沼小学校には、各学校を会場として「放課後学校」を開設した。 中成30年度より北光小学校地区放課後学校を、令和3年度より砂川小学校地区及び中央小学校地区放課後学校を開設し、市内の全小学校地区での実施となった。(実施回数は既設の3校は年間32回、新設の2校は年間16回)令和4年度からは各校地区の実施回数を年間16回に平準化した。										改」を開設した。 2 校は年間16回)				

[DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3力年計画 第3次実施4力年計画 第1年次 第4年次 第2年次 第3年次 実施3カ年 第5年次 第6年次 実施3カ年 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 実施4カ年 総合計画 合 計 合 計 合 計 合 計 (3年度) (4年度) (5年度) (6年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 1, 141, 000 838, 000 3, 423, 000 1, 141, 000 1, 141, 000 4, 564, 00 430,000 430,000 1, 698, 00 1, 141, 000 1, 141, 000 1, 141, 000 1.141.000 9, 685, 000 予算計上額 838, 000 1, 280, 000 1, 226, 000 3, 344, 00 1. 141. 000 1, 155, 000 2, 296, 000 5, 640, 000 実 績 額 346, 000 470,000 403, 000 1, 219, 00 332,000 332, 000 1, 551, 000 計画額 方 予算計上額 投 実 績 額 計画額 140,000 0 140,000 140,000 140,000 420, 00 140,000 140,000 420, 000 140, 000 140,000 140, 000 140,000 560, 00 1, 400, 000 予算計上額 140,000 140,000 140,000 420, 00 140,000 140,000 280, 00 700, 00 さ 実 績 額 58, 400 58 400 53, 600 170, 40 52,000 52, 000 222, 400 計画額 1, 670, 000 1, 177, 000 1, 177, 000 4, 024, 00 1, 689, 000 1, 689, 000 1, 689, 000 5, 067, 000 1. 689. 000 1, 689, 000 1, 689, 000 1, 689, 000 6, 756, 00 15, 847, 000 - 般 財 源 予算計上額 1, 670, 000 1, 479, 000 1, 294, 000 4, 443, 00 1, 689, 000 1, 854, 000 3, 543, 000 7, 986, 000 実 績 額 1. 507. 687 1.373.969 1. 383. 246 4, 264, 90 1, 873, 243 1, 873, 24 6, 138, 145 事業費合計 計画額 2, 648, 000 1, 747, 000 1, 747, 00 6, 142, 00 2, 970, 00 2, 970, 000 2, 970, 00 8, 910, 000 2, 970, 000 2, 970, 000 2, 970, 00 2, 970, 000 11, 880, 00 26, 932, 000 予算計上額 2, 899, 000 2, 660, 000 8, 207, 000 2, 970, 000 2, 648, 000 3, 149, 000 6, 119, 000 14, 326, 000 実 績 額 1, 912, 08 1, 902, 369 1, 839, 84 5, 654, 302 2, 257, 243 2, 257, 243 7, 911, 545 事務補助員報酬等 事務補助員報酬等 事務補助員報酬等 事務補助員報酬等 事務補助員報酬等 費 1,455千円 指導員等謝礼 927千 指導員等謝礼 1,610 指導員等謝礼 1,326 指導員等謝礼 1,196 指導員等謝礼 1,189 事業費予算の の 内容 費用弁償等 70千円 費用弁償等 70千円 費用弁償等 70千円 費用弁償等 70千円 費用弁償等 121千円 消耗品費 173千円 消耗品費 173千円 消耗品費 173千円 消耗品費 173千円 消耗品費 180千円 推 保除料 226千円 保険料 213千円 保除料 213千円 保険料 211千円 保除料 211千円 実施校の増によ 指導員謝礼の増 実施回数や指導 事務補助員報酬 事務補助員報酬 る事業経費の増 による事業経費 員の減を見込ん 単価の増 単価の増 前年度予算と だことによる指 の比較 導員等謝礼の減 (増減理由) 実施回数減による事 実施回数減による事 新型コロナウイ 指導員欠席によ 務補助員報酬・手 る謝礼の減、研 ルスの影響によ 当・指導員等謝礼 当・指導員等謝礼 実績との比較 り実施回数が減 保険料の減、研修会 修会不参加によ 保険料の減. 研修会 (増減理由) る費用弁償の 少したため事業 実施方法の変更によ の実施方法の変更に 減、指導員保険 る旅費の減 よる旅費の減 経費の減

(単付:円)

指標の推停・評価 活動指標 1 (「手段」をもとに設定) 指標名:放課後子ども教室の延参加人数 指標の求め方:事業参加人数																	
活重	カ指標 1	(「手段」を	もとに設定)	指標名:放課後	子ども教室の延参	加人数	指標の求め方:引	事業参加人数									
成县	早指標 1	(「成果」を	もとに設定)	指標名:安全安心	心な居場所の推進	率	指標の求め方:参	参加者アンケート	で放課後子ども教	室が安心安全なり	居場所づくりにな	っていると回答し	ンた登録児童の保 詞	蒦者の割合			
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	第3次実施4カ年	計画		第 7 期
							実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
		活動指標 1	計画値	3, 180	1, 800	1, 670		1, 650	1, 620	1, 620		-				-	
	指	(単位/人)	実績値	2, 684	2, 231	2, 170		2, 378									
	標	成果指標1	計画値	100	100	100		100	100	100)		_	_	_	_	
	-	(単位/%)	実績値	99	97. 5	97. 9		100									
			きもとに評価)				達成されている										
			もとに評価)				変わらない										
		事業の効率					変わらない										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容	理師の	由または指標	全をもの地どがる新ルの容では、今域に参域も整。型スたを実施に参域をえ、コ感め一施は、部に、いた、の地とがでえ、コ感め一た。 コミッ かい	を民のる透指大た子心所の成計画や交事し標等。ど・ヴ評果画回 ちなと高は達をしてはく も安く価指値 し異流業とお計上 た全りは標をといると高は達成といる。というでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	値り活域同め浸成値し足ど安を、動住士る透果を、使も全を、動性士る透果を、度も全を、動性士を通いす。指指ほ保はたなられる。とは、は達者、の場合の場合が、要が、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	判活値りほ成か健る推る効はを縮りて踏価るた 断動を、ぼしらや環進。 理指大成計で、か境で、性道用をきなえ「と 理指大成計で、か境で、性道用をきなえ「と は、は、は、で、で、で、で、で、で、で、で、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	値り活域同め浸成値者くの居と域る現を、動住士の事と指達満子全所予見境大をへ通いで乗りで見ばをである。 を、動性士の事と指達満子全所予見境大をで通い交業で標成足ど・づど守づくかどいばし度もたいりを育りのは、いきでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向	性				現状のまま継続										
			子ども教室の活動 民の参加機会の抗	助や趣旨を広く周 広充のための取組 合和8年度の義務 フールバスの運行		の確保や地域住 現状のまま継 けて、義務教育	R8 :				R10 :						

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	子ども防災教	室推進事業			事業期間	令和	元年度 ~ -	- 年度								
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-4	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係		
	実際の避難所生活し、適切な行動が			て、災害発生時に	- こ自分の命を最優先	とし、正しい	知識を持ち、判断	手段 (どのような方法で 実現するのか)	地域の人材や関係部署・機関、必要に応じて専門的な知識・技能を持った専門家にも協力を得ながら、地域資源を活用 うな方法で のか)							
対象 (誰・何を対象として いるのか)	小学3年~6年生	Ē						成果 (どのような効果が 得られるのか)	事業参加者が防災	災に対して意識が	向上したと評価さ	れる事業内容にす	けることにより、:	災害対応に対する理解が深まる。		
事業開始時の状況 緯	事業開始時の状況・これまでの経 令和元年度より、普段からの備え・訓練の大切さを理解し、また、災害に対する対応を学ぶことを通して、地域に対する関心を深めるために、隔年を基本として事業を実施することとした。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため子ども防災教室を中止し、「防災ハンドブック」を製本して市内小中学校全児童・生徒・教職員に配付することにより災害への備えを啓発した。令和4年度に子ども防災教室事業を実施す とした。												子ども防災教室事業を実施すること			

[DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3カ年計画 第3次実施4力年計画 第4年次 第1年次 第2年次 第3年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 合 計 合 計 (6年度) 合 計 計 (3年度) (4年度) (5年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 方 債 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 0 予算計上額 さ 実 績 額 一般財源 計画額 34, 000 97, 000 131, 000 114, 000 114, 000 114, 000 114, 000 228, 00 473, 000 予算計上額 34, 000 26,000 229, 000 289, 00 289, 000 実 績 額 6. 534 25. 083 228, 831 260, 448 260, 448 計画額 473, 000 事業費合計 34, 000 97, 00 131, 00 114, 000 114, 000 114, 000 114, 000 228, 00 予算計上額 34, 000 26, 000 229, 000 289, 000 289, 000 実 績 額 6, 534 25, 083 228, 83 260, 448 260, 448 消耗品費 34千 消耗品費 26千 消耗品費 15千 予算計上なし 予算計上なし 費 印刷製本費 115 事業費予算の の 内容 車借上料 99千 推 事業内容の見直 事業内容の見直 事業内容の見直 隔年実施のため 事業終了のため しによる事業経しによる事業経しによる事業経 皆減 予算計上なし 前年度予算と 費の減(R元年 費の減 費の増 の比較 度予算との比 (増減理由) 新型コロナウイル 同額 スの影響により事 同額 実績との比較 業を中止したが、 (増減理由) 周知等事前準備用 消耗品のみ支出

7H H		P - 8T1W			:参加人数 指標の求め方:事業参加人数												
活動指標1(「手段」をもとに設定)				指標名:参加人類	数		指標の求め方: 引	事業参加人数									
成果	成果指標1(「成果」をもとに設定)			指標名:防災意	哉が向上した参加	者の割合	指標の求め方:フ	アンケートで参加	者が事業に参加し	で防災に対する	意識が向上したと	回答した参加児童	の割合				
					第1次実施	53カ年計画 13カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第1年次 第2年次 第3年次			実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標	, , }	20	20	20		_	20	—		20		20	<u> </u>		
	指標	(単位/.	入根距		8	9		_									
	行示	成果指標 (単位/		100	100 100	100 100			100			100	<u> </u>	100	<u> </u>	-	
		事業の達	八根に	_	100	100		_									
			標をもとに評価)				あまり達成されていない										
		事業の成 (成果指	t果 標をもとに評価)				変わらない										
		事業の対	加率性 に対する成果)				変わらない										
		総合評価					普通である										
		ᄣᄺᄧᄱ		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容		理由または指標	型ス子を4るめ当な事にてン関係でいた教令施たには、まい業部にいた係ないと指案。日を「ブ部中にと指案。日を「ブ部中にと指案」とし標績を予防りの災、実し標績を予防りの災、実し標績を予防りのが、実し標績をかけて、対している。	各し防業で令災た参動を果をに技を学校る室外のに称らく、一般では、大学のいれない。 で、「製め度等かな計と計、知ぶで、教育には、大学ので、「国類的度等がなける学者標回標、はる学すを対している。画、防識機工・大学ので、「と関い、大学ので、「と関い、大学ので、「と関い、大学の、大学の、大学の、大学の、大学の、大学の、大学の、大学の、大学の、大学の	活値ば札間参を考成値災機こ各さ動のず幌の加上え果を意識をがでいいた。標はこれでなる指達成を提び使い加上え界を意識をがでいいれる指達成を提びでいいれる。標はして、1、0、0、0、0、0、0、0、0、0、0、0、0、0、0、0、0、0、0、	値が計し害をで効はしを評あ を、画、に深き率、で路価る を、画、に深き率、で路価る を、高に深らで、つくい、音判 では、災解が でんとでいまは」 できなえ「と できなえ」と できる。 できなえ、音判 では、災解が でんと合いした。 でいるに がある。 でいるに がある。 でいるに がある。 でいるに がある。 に深らを いるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 でいるに があた。 があた。 があた。 があた。 がから、 がから、 がった。 がった。 がった。 がった。 がった。 がった。 がった。 がった。	令夕実が「校さ災機でら業は 和一施、1」 元年と学防どがりて保と教のも 度隔だ校災がりて保と教のも をといっている社でた はなてつがる社でた では、と終 でいるが、とを でいるが、とれ でいるが でいるが でいるが でいるが でいるが でいるが でいるが でいるが									
		今後の方	 f向性				手段の見直し										
				R5 :	A = F : = ##			R8 :				R10 :					
			北海道教育委員会の「1日防災学校」実施要綱に基づき、市内小中 学校持ち回りで授業等を実施することとなっていることから、その 内容を把握しながら社会教育事業として必要な学習機会は何か実施 方法も含め検討・協議が必要であるため、今後の方向性については 「手段の見直し」とした。 の判断理由 改革の内容														

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	少年の主張大	:会運営事業			事業期間 平成23年度 ~ — 年度]								
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-4	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係			
(何のために実施する	少年が社会へ向け どとともに、物質 解を深める契機と	₽を論理的に考え.	への希望などを発 る力や自らの主張	表する機会を設 ^り を正しく理解し [・]	・ けることにより、戊 てもらう力を身につ	い視野と柔軟 りけ、少年の健	な発想や創造性な 全育成に対する理	手段 (どのような方法で 実現するのか)	中学校の教頭・担当教諭とともに実行委員会を組織し事業の企画運営をし、中学校または小学校にて選出した代表者が 主張の発表を行い、青少年健全育成に係るものによる審査委員が審査・講評を行い、表彰する。								
対象 (誰・何を対象として いるのか)	少年・青年・成力	・高齢者						成果 (どのような効果が 得られるのか)						事業が推進されていると評価でき 建全育成に対する理解が深まるこ			
事業開始時の状況・これまでの経 韓 平成23年度より「砂川市少年の主張大会」として開催している。 令和5年度に中学校の統合が予定されていることから、開催方法等について実行委員会で検討する必要がある。																	

[DO]

実績

			第1次実施	3 力年計画		第 2 次実施 3 カ年計画				第3次実施4カ年計画					
		第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
国 費 計	画額				0				0					0	0
	算計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
	算計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
	画額				0				0					0	0
1X	算計上額				0				0					0	0
	績 額				0				0					0	0
入その他計	画額				0				0					0	0
7	算計上額				0				0					0	0
実	績 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計	画額	8, 000	8, 000	8, 000	24, 000	8, 000	-,	8, 000		8, 000	8, 000	8, 000	8, 000	32, 000	80, 000
4	算計上額	8, 000	8, 000	8, 000	24, 000	8, 000	8, 000		16, 000					0	40, 000
	績 額	0	0	0	0	1, 720			1, 720					0	1, 720
争	画額	8, 000	8, 000	8, 000	24, 000	8, 000	8, 000	8, 000	24, 000	8, 000	8, 000	8, 000	8, 000	32, 000	80, 000
	算計上額	8, 000	8, 000	8, 000	24, 000	8, 000	8, 000	0	16, 000	0	0	0	0	0	40, 000
業実	績 額	0	0	0	0	1, 720	0	0	1, 720	0	0	0	0	0	1, 720
費	i	費用弁償 8千円	費用弁償 8千円	費用弁償 8千円		費用弁償 8千円	費用弁償 8千円								
事業費予算の															
の内容															
推															
推	F	司額	同額	同額		同額	同額								
移一一	l'	門假	門館	印銀		門假	門稅								
前年度予算との比較															
(増減理由)															
	ž	新型コロナウイル	新型コロナウイル	空知地区大会が		空知地区大会の									
実績との比較		スの影響により空	スの影響により空	砂川市開催と		開催場所決定に									
(増減理由)	7	和地區人芸からて 才審査となったた	新型コロナウイル スの影響により空 知地区大会がビデ オ審査となったた め費用弁償不要	なったため費用		よる費用弁償の									
	d	め費用弁償不要	め費用弁償不要	开展11安		NY.									

Ħ	構の	推移	・評価															
7	5動指	標 1	(「手段」をも	とに設定)	指標名:出場者	数・来場者数		指標の求め方:	事業に出場した生	徒または児童の数	と来場者の人数							
F.	大果指	標 1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:事業の	達成度		指標の求め方:フ	アンケートで出場	者が学んだことが	あった、来場者だ	が目的が達成でき	たと回答した人の	割合				
					第1次実施3カ年計画						3 力年計画	II			3次実施4力年記			第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
٢			活動指標 1	計画値	90				90				80					
		指	(単位/人)	実績値	22				37									
		標	成果指標 1 (単位/%)	計画値実績値	85 100				85. 3	85	85		85	85	85	85	<u> </u>	
	F		事業の達成度	Ę	100	32	31. 3	ほぼ達成されている	33.3									
			(活動指標を: 事業の成果	もとに評価)				TAIL ENCINCONS									4	
			事業の成果 (成果指標を:	もとに評価)				変わらない										
			事業の効率性					変わらない										
		ŀ	総合評価	7 0/22/				良好である									1	
					自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					新型コロナウイ	昨年度に引き続 き新型コロナウ	覧に制限を設け	ルス感染症対策	度を下回り、計									
					として観覧に制	イルス感染症対 策として観覧に	動指煙付計画值	け計画値に及げ	かった									
					限を設けて実施	制限を設けて実	を達成しなかっ	なかったが、成	成果指標は計画									
					指標は計画値を	施したため、活 動指標は計画値	上回る来場者数	をほぼ達成し事	者及び来場者の									
	事					を下回ったが、 成果指標は計画		業の満足度は高										
		評価			いる事業の達成	値をほぼ達成	値を達成し、出	全育成に対する	考えを広く市民									
	務	内			中学生の思いや	し、事業の満足 度は高かった。	の満足度は高	市民の理解を深めることに一定	に知ってもらう ため、観覧者が									
		容	総合	評価の判断	考えを広く市民	中学生の思いや	LV-	の成果があっ	少ないことが課									
	事		理由の実	Iまたは指標 ☑結値に関す	に知ってもらう ため、発表者全	考えを広く市民 に知ってもらう	また、中学生の 思いや考えを広	た。 効率性について	題として挙げら れるが、出場者									
				己分析	員の主張文を	ため、発表者全 員の主張文を	く市民に知って	は大きく変化し	全員の主張文を									
	業				信」に掲載し青	「オアシス通	場者全員の主張	踏まえ、総合評	信」に掲載する									
					少年の健全育成に対する市民の	信」に掲載し青 少年の健全育成	文を「オアシス 通信」に掲載	価は「良好であ る」と判断し	ことで会場に来 られなかった市									
	評				理解を深める契	に対する市民の	し、青少年の健	<i>t</i> =.	民や小中学生の									
					機となってい る。	理解を深める契 機となってい	全育成に対する 市民の理解を深		目にも留まり、 より多くの市民									
	価					る。	める契機となっ た。		の理解を深める 契機となるよう									
							/_ 0		取り組んだ。									
		-																
	-		今後の方向性	Ė .	DE .			現状のまま継続	DO .				R10 :				1	
						考えを市民に伝え			ко :				KIU:					
						民が青少年の健全 り、今後も継続し												
					校統合による開作	催方法の見直しや	、担当教諭の負担											
	-	<u>-</u> ⇔₩	上の判断理由		万法について検討	討する必要がある	•											
	5	文善、	改革の内容															
		(R5.	R8、R10)															

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	あいさつ運動	推進事業			事業期間	平成	12年度 ~	— 年度					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-4	他に関連する 基本事業	6-2-1				 所管課係	社会教育課社会教育係
(何のために実施する	関係を醸成するこ	ことが基盤となる	。日頃から子ども	とのかかわりを	- 竟を確保するととも 深め、心通いあう環 もの育成に努める。				物品の貸与(のほ・各実施団体や参加・各学校における所	N週間の実施(春季、秋季 fり、腕章、たすき、啓勇 □者の計画に基づいた自主 団童会(生徒会)やPTA等 『でのあいさつの励行、♯	®用テープ) E的、日常的な活動。 を中心としたあいさつ⊍		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	児童生徒、地域伝	注民						成果 (どのような効果が 得られるのか)		大人が日ごろから 、かかわりを深め			ョンが図れたと評価できる事業を
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	平成11年には市内 平成12年初めての	内小中高及び一般で	F民より「あいさ PTA連合会が中	うつ運動」標語を募 心となり「あいさつ	集。		にて、「あいさつ選 高の保護者、地域住			0		

[DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3カ年計画 第3次実施4力年計画 第4年次 第1年次 第2年次 第3年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 合 計 合 計 (6年度) 合 計 合 計 (3年度) (4年度) (5年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 36,000 38, 000 152, 000 38, 000 228, 00 171, 000 43,000 250, 000 36,000 178,000 36,000 43,000 293, 00 771,000 予算計上額 38, 000 179, 000 38, 000 255, 00 35, 000 121, 000 156, 000 411, 000 実 績 額 19, 166 65, 700 17, 580 102, 446 11, 310 11, 310 113, 756 方 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 0 予算計上額 さ 実 績 額 一般財源 計画額 19,000 76, 000 19,000 114, 00 29,000 86, 000 22, 000 137, 000 19,000 89,000 19,000 22, 000 149.00 400, 000 30,000 61,000 91,000 予算計上額 19,000 90,000 19,000 128, 00 219, 000 実 績 額 37, 792 203. 174 38, 759 279, 72 53, 266 53, 26 332, 991 計画額 65, 000 1, 171, 000 事業費合計 57, 000 228, 000 57, 00 342, 00 257, 000 65, 00 387, 000 55, 000 267, 00 55, 00 65, 000 442, 00 予算計上額 57, 000 269, 000 57, 000 383, 00 65, 000 182, 000 247, 000 630, 000 実 績 額 56, 95 268, 874 382, 171 64, 57 64, 576 446, 747 消耗品費 57千 標語記念品代 消耗品費 57千 標語記念品代 消耗品費 54千 10千円 円 費 10千円 消耗品費 57千円 消耗品費 55千 物品購入(消耗 事業費予算の の 物品購入費 内容 品費) 128千円 202千円 推 標語記念品代及 標語記念品代及 標語記念品代及 標語記念品代の のぼり・腕章等 び消耗品費の減 びのぼり・腕章 び消耗品費の減 購入に係る消耗 前年度予算と 購入に係る経費 品費の増 の比較 記念品代当初なの増 (増減理由) 消耗品費 58千 同額 実績との比較 (増減理由)

17 15	TH THE .			±1-1= / 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 =	41_		#E# 0 # 4 # 7	4回収明のオ 4台	to 1 #t								
		(「手段」を		指標名:参加人数		14.54.	指標の求め方:強			, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	> 1 1 1 mm: :	L a rhii A					
成果	指標 1	(「成果」を	もとに設定)	指標名:安心安全	全なまちづくりの		指標の求め方:参	≶加者アンケート 			られたと回答した	:人の割合					
						3 力年計画				3 力年計画				3次実施4力年計			第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施 4 カ年 合 計	総合計画合計
	1	well to the	! 到來は	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	Ta at	н н
	指	活動指標1 (単位/人)	計画値実積値	3, 377 18	3, 377 11	3, 377 2, 929		2, 768	3, 377	3, 377	<u>/- </u>	3, 377	3, 377	3, 377	3, 377		
	押標	成果指標 1	計画値	90	90			90	90	90		90	90	90	90		
		(単位/%)	実績値	_	_	90. 3		93. 9									
		事業の達成	度をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果					変わらない										
		事業の効率(事業費に対	性				変わらない										
		総合評価	.,				良好である										
事務事業評価	評価内容	埋しの	合評価の判断標 申または指関す	ルスに 悪染症の を より更し に変 で を活 が はの に で で に で に に で に に に に に に に に に に に に に	きウの施た標きまに、イン・カーの施た標きまにを、イシックの施たではくた。面回の成するが、当下、、当ない。とのでは、当ない。とのでは、一つ、といいのでは、一つ、といいのでは、一つ、といいのでは、一つ、といいのでは、一つ、といいのでは、一つ、といいのでは、一つ、といいのでは、一つ、といいのでは、まれば、大きないのでは、まれば、大きないのでは、まれば、大きないのでは、まれば、まれば、まれば、まれば、まれば、まれば、まれば、まれば、まれば、まれば	ル類れぶのさし活値が経低あ市でが成値どの安なにたり街つで動を、て下っ民再で果を達り・染きめ通で動 標回口会たも参すた標成ちを安染きの通で動 標回口会たも参すた標成ちを安全をしています。	活と度ですいの子わ会大交ケとい動な・疾結で、組もを地たやシで事め、実値とこみと深域ちコョ定業の・実値とごみと深域ちコョ定業をしている。 い価しでりか機う報ニ場ていばれにのめにののとの言と着でいまれたのめにののとかる集情ュのしあい価しでりか機う報ニ場である。	人がやり動をた指達「いミンしもわ下に人がやり動をた指接大のはしい基ニをてとりを時候もしいがありままでとりを時候もしたが、画。のか一かのがの見りお彩にはいるエージをはいるないである。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向	性				現状のまま継続										
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	3	車での呼び掛けるかったが、令和5 かったが、令れたう 引き下げられたる 校・家庭・地域は づくりを推進する また、令和8年月	活動のみの実施と 5年度に新型コロニとに伴い、参コ ことに伴い、がコ 主民と子どもがコま るため「現状のま 度の学校統合に向	になった。というは、はいたいなったといたい後、といたいないできませい。というできました。というできません。というできません。というできません。というできません。というできないがある。というできないがある。	加は得られなが5類感染症にものと考え、学を図るきっかける。	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	青少年問題協	3議会運営事業	Ę		事業期間	昭和	37年度 ~ -	- 年度						·
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-4	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	青少年の指導、〒 の促進を図るなる	育成及び保護につ ど具体的対策の樹	いての調査検討を 立に関する事務を	行い、必要に応 つかさどる。	じ各種情報資料の多	を換、収集並び	に関係機関の活動	手段 (どのような方法で 実現するのか)	青少年の健全育別	成に関する諸課題	を関係行政機関と	:調整を図り、意見	見を述べる。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	青少年問題協議	会委員						成果 (どのような効果が 得られるのか)	関係行政機関が- 図ることができ	一同に会し出席で る。	きる機会を設ける	ことにより、青少	今年の健全育成に	関する諸課題の情報共有や調整を
事業開始時の状況 緯	・これまでの経		会委員は、定数を1 り副会長1人を置。		は2年とし、教育委	員会教育長、	関係行政機関の職員	及び青少年の指導	、育成等に係る約	組織団体において	活動する方により	組織されている。	また、青少年問是	預協議会の会長は教育委員会教育長

[DO]

実績

			第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
		第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費	計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実 績 額				0				0					0	0
道費	計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実 績 額				0				0					0	0
地方債	計画額				0				0					0	0
投	予算計上額				0				0					0	0
	実 績 額				0				0					0	0
入その他	計画額				0				0					0	0
a	予算計上額				0				0					0	0
	実績額				0				0					0	0
れ 一般財源	計画額	42, 000	42, 000		126, 000	42, 000	,	42, 000		42, 000	42, 000	42, 000	42, 000	168, 000	420, 000
+-	予算計上額	42, 000	42, 000	42, 000	126, 000	42, 000	,		84, 000					0	210, 000
<i>t</i> =	実 績 額	24, 510	39, 130	39, 180	102, 820	34, 410			34, 410					0	137, 230
事業費合計	計画額	42, 000	42, 000	42, 000	126, 000	42, 000	42, 000	42, 000	126, 000	42, 000	42, 000	42, 000	42, 000	168, 000	420, 000
	予算計上額	42, 000	42, 000	42, 000	126, 000	42, 000	42, 000	0	84, 000	0	0	0	0	0	210, 000
業	実績額	24, 510	39, 130	39, 180	102, 820	34, 410	0	0	34, 410	0	0	0	0	0	137, 230
費		委員報酬 39千	委員報酬 39千	委員報酬 39千		委員報酬 39千	委員報酬 39千								
事業費予算の		円 費用弁償 3千	円 費用弁償 3千	円費用弁償 3 チロ		円 費用弁償 3千円	円 費用弁償 3千円								
の一内容		円	円	1112		SEMINISE OTTI	3€/11/1 BE 0 1 1 1								
144															
推		同額	同額	同額		同額	同額								
移业上土工业。		印	印积	P		円 役	问領								
前年度予算と の比較															
(増減理由)															
		会議委員欠席及	会議委員欠席及	会議欠席及び辞		会議欠席及び報									
実績との比較		び辞退者分の減	び辞退者分の減	退者分の減		酬辞退者分の減									
美粮との比較 (増減理由)															
. 2002 = 7															
						II .									

指標	の推	移・評価															
活動	指標	1 (「手段」	」をもとに設定)	指標名:参加人			指標の求め方:と										
成果	! 指標:	1 (「成果.	」をもとに設定)	指標名:委員出版	席率		指標の求め方:と	出席委員数/委員数	牧								
						13 力年計画				3 力年計画				3 次実施 4 力年 		"	第 7 期
				第1年次(3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	T	活動指標	票1 計画値	12				12				12					
	指	(単位/		11				10									
	標	成果指標 (単位/	/: . 	100				100	100	100		100	100	100	100		
		事業の過	八根區	92	92	100		83									
			標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の原(成単指	成果 標をもとに評価)				変わらない										
		事業の対					- 1 - 4									-	
			に対する成果)				変わらない										
		総合評価	5	自己分析:	自己分析:	自己分析:	普通である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事	評価士			で委員の変議の変し、 であり、の変議を明まる。 をは、理をできる。 であり、のは、 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	指標画は 特に に に に に に に を に に で の に で の に で の に で の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の の の の の の の の の の の の	指標ともに計画 値を強成等の 情報で で 育が で 育が を 育が を 発 の に た で と で の に た で を り の に り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	活指画が発生でする。 ・成若回回が全面が報とでする。 ・成若回のに会行行について、 ・成若回のに会行行について、 ・では、	指計がりすをのでは、として、として、として、というでは、巻る行健防・でのでは、きる行健が、一つでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、い									
務事業	内容		総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	年問題の共通認			げることがくという。 ではいかく果者 のなというがく のないというがく のないというがいる。 ないでしたいでした。 でしている。 でいる。 でい。 でいる。										
							ていないことを 踏まえ、総合評										
評							価は「普通であ										
							る」と判断し た。										
価																	
		今後のフ	方向性				現状のまま継続										
			-	関係団体間の連	り巻く環境が複雑 携が不可欠であり まま継続」とする	、協議会の開催内	へる状況の中で、 1容の充実を図り	R8 :				R10 :					
	改善	性の判断 、改革の 、R8、R1	内容														

第7期総合計画事務事業進行管理調書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	青少年指導セ	ンター推進事	業		事業期間	昭和	38年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	3-3-4	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	市内小・中・高等止・安全確保など	学校の児童生徒の ごを図るため、砂)校外生活について 川市青少年指導セ	の意見交換・情 ンターを設置す	- 報交流等を密にし、 る。	児童生徒の優	建全育成・非行防	手段 (どのような方法で 実現するのか)	巡回指導 (PTA	A、警察の協力を	得て、祭典や市民	情報交換や問題点の 民行事の際巡回指導) 番の家との連携)		
(誰・何を対象として	指導センター推進 推進員は、市内 事がこれにあたる	内小学校、中学校.	及び高等学校の生	走指導担当者、孫	沙川警察署生活安全	課職員、指導	主事、社会教育主	成果 (どのような効果が 得られるのか)	指導センター推進 る。	進員会議での情報	交換や問題点の協	協議を行うことで、	青少年の健全育	或、非行防止、安全確保が図られ
事業開始時の状況 緯	・これまじの栓	平成13年度に「青	青少年補導センター 青少年指導センター 青少年指導センター	-」へ名称変更し	.た。 徒指導連絡協議会 ₋	」とを発展的に	に解消し、「青少年	F指導センター」を	設立した。					

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
				第1年次(3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の他					0				0					0	0
₹			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	— A	と 財源		28, 000			,	27, 000	,,	27, 000		17, 000	17, 000	17, 000	17, 000	68, 000	233, 000
た			予算計上額	28, 000			84, 000	27, 000	,		52, 000					0	136, 000
12			実績額	26, 122				22, 437			22, 437					0	99, 743
事	事業	費合計		28, 000		28, 000	84, 000	27, 000	,	27, 000	81, 000	17, 000	17, 000	17, 000	17, 000	68, 000	233, 000
-ALI4-			予算計上額	28, 000		26, 000	84, 000	27, 000	25, 000	0	52, 000	0	0	0	0	0	136, 000
業			実 績 額	26, 122		23, 384	77, 306	22, 437	0	0	22, 437	0	0	0	0	0	99, 743
費				費用弁償 17千	費用弁償 19千	費用弁償 15千 円消耗品費 11		費用弁償 16千	費用弁償 14千								
	事業	費予算の		消耗品費 11千	消耗品費 11千] 消耗品費 11千	1. 消耗品費 11千								
の		内容		円	円			円	円								
推																	
100	-			同額	費用弁償の増	費用弁償の減		費用弁償の増	費用弁償積算額								
移	前在	度予算と		I-J BR	3C/11/11 DC 07-11	吴/1171 民 57 // 54		異川川 展り省	の減								
	Bij 4	及り昇こ D比較															
	(増	減理由)															
				同額	会議委員欠席者	欠席委員費用弁		欠席委員費用弁									
	実績	との比較			分の減	償の減		償の減									
	(増	減理由)		l													
				•	•	•			•								

今後の方向性

方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)

指標の推移・評価

助指標 1	(「手段」	をもとに設定)	指標名:推進員会	会議の延べ出席者	数	指標の求め方:持	推進員会議の延べ	出席者数								
見指標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:推進員の	の会議参加率		指標の求め方:	参加人数/推進員数	数								
				第1次実施	13 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	十画		第 7
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	総合計合
	活動指標	1 計画値	122		1 1 1 1 1 1 1 1 1		119				54					
指	(単位/.	人) 実績値	131	128	114		60									
標	成果指標		90	90	90		90		90		90	90	90	90)	
	(単位/9	入帳間	91	89	86		86									
		標をもとに評価)				達成されている										
	事業の成 (成果指	t果 標をもとに評価)				変わらない										
	事業の効 (事業費)	加率性 に対する成果)				変わらない										
	総合評価	5				良好である										
評価内容		総合評価の判断	推月やる関し図未阻い活値りほぼり回来阻い活値りほとの大ないで、対情をで間通、止役標回界回と格大ら、数上人で関連、上役標回果画が大拡っ、計で振った。対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	値り計成が情点と係識行保にを、適した物では、性が情点と係識が情点と様が防でいる特別でいる。で、強値に関立のと機が開でいるが、でいるが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	川統数た標し成値た定物を内内が員し指達。画っ回換議市共中省がたはな果をが例間行関関いた。計算の上間の上間が開発した。計画の上間の上間が開始が開始が開始が開始が開始が開始が開始が開始が開始が開始が開始が開始が開始が	活指値り全止一あ効はて踏価るた 動標ど、育・定っ率大いまは」。 ・にと年非確果 つ変こ総好断 にとなれた保護、 ・にとのでし、 ・でし、 ・でし、 ・でし、 ・でし、 ・でし、 ・でし、 ・でし、 ・	たルよ報増ら意会22点、動物のは、大いよ報増ら意会22点、の議回ら排機とか存進数では、大いまで、大いまで、大いまで、大いまで、大いまで、大いまで、大いまで、大いまで		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

									1						
事 業 名	はたちの集い	運営事業			事業期間	昭和	23年度 ~	_	年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-4	他に関連す 基本事業	る						所管課係	社会教育課社会教育係
目的(何のために実施するのか)	新成人同士のつた 会人の一員として	ながりを再確認し、 この自覚を認識する	、更に絆を深められる場とする。	れる場を設定する	- ることにより、市へ	への愛着心を深	めるとともに	, TI	手段 (どのような方法で 実現するのか)	新成人で世話人会	会を組織し、世話	人会が成人式の内	容を企画・運営す	る。	
対象 (誰・何を対象としているのか)	新成人								成果 (どのような効果が 得られるのか)	新成人自らが式る することで、可能	を企画・運営する 能な限り多くの新	ことにより、その 成人が参加するよ	世代に合った企画 うになり、郷土へ	回で実施でき、新原 への帰属意識や社会	成人が主体的に参画できる内容に 会人としての自覚が喚起される。
事業開始時の状況 緯	!・これまでの経	平成18年度より交 新型コロナウイル	レス感染症の影響に	会場を移し、平 より、令和2年	成19年度からはス 度の第73回成人式	が約1年後に	延期となり、イ	3和4:	年1月に実施した	第73回、第74回は	は感染症拡大防止	対策として内容を			。「砂川市はたちの集い」に変更す

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
≥			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	- #	段 財源	計画額	374, 000	203, 000	203, 000	780, 000	194, 000	,	194, 000	582, 000	194, 000	194, 000	194, 000	194, 000	776, 000	2, 138, 000
+-			予算計上額	374, 000	213, 000	198, 000	785, 000	194, 000	177, 000		371, 000					0	1, 156, 000
た			実績額	330, 914	203, 883	183, 908	718, 705	192, 278			192, 278					0	910, 983
事	事 業	養合計	計画額	374, 000	203, 000	203, 000	780, 000	194, 000	194, 000	194, 000	582, 000	194, 000	194, 000	194, 000	194, 000	776, 000	2, 138, 000
			予算計上額	374, 000	213, 000	198, 000	785, 000	194, 000	177, 000	0	371, 000	0	0	0	0	0	1, 156, 000
業			実績額	330, 914	203, 883	183, 908	718, 705	192, 278	0	0	192, 278	0	0	0	0	0	910, 983
費の推		費予算の 内容		第73回成人式 第73回成人式 月報程費 142千円 日前74至十五年 日前74至十五年 日前74至十五年 日前74至 日前74 日前74 日前74 日前74 日前74 日前74 日前74 日前74	記念品代 145千円 消耗品費 51千円 食糧費 5千円 印刷製本費 2千円 通信運搬費10千円	記念品代 139千 円消耗品費 52 千円食糧費 5千円印刷製本 費 2千円		記念品 135千円 消耗品費 52千 円 食糧費 5千円 印刷製本費 2千	消耗品費 52千 円 食糧費 5千円								
移	0	度予算と の比較 減理由)			回成人式の開催 経費分の減	事業経費の減		記念品の減	対象者減による記念品の減								
		との比較 減理由)		参加者減による事業経費の減	に変更分通信運 搬費減			世話人会オンラ イン開催による 食糧費の滅									

11	微い加	移 畔	Щ														
污	動指標	1 (「手	段」をもとに設定)	指標名:世話人の	の参加人数		指標の求め方:世	世話人の参加人数									
月	果指標	1 (「成	(果」をもとに設定)	指標名:新成人の	の参加率		指標の求め方: 新	f成人参加人数/	新成人参加対象数	<u> </u>							
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
		_		(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
			指標 1 計画値	10		10		10	10		3	8	8		8		
	指標	_	位/人) 実績値 指標 1 計画値	第73回成人式 11 第74回成人式 10 70				70	70	70		70	70	70	70		
	122		指標 1 計画値 位/%) 実績値	第73回成人式 60 第74回成人式 71				70. 4	70				70		70		
		事業の	の達成度	第74回成人式 /1	1 07.0	70. 1	*****										
		(活動	1指標をもとに評価)				達成されている										
			の成果 は指標をもとに評価)				変わらない										
		_	の効率性														
			養に対する成果)				少し上がっている										
		総合言	評価				良好である										
				自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				が成人の人口減少や市外転出等	活動指標は計画 値を達成し、人	大口減少や市外 転出等により世	成果指標が計画 値に及ばなかっ	人口減少や巾外 転出等による影									
				により新成人世	口減や市外転出	話人の担い手が	たものの、成人 が世話人会を組	響を受けながら									
				ニセスが 女子	おはホルナ フル	神(ナシルボ)は1~、安	始し ナけがに 書	あはまはばませ									
				人が主体的に事	か、成人が主体	しなかった。	人式(はたちの	した。									
	事			業の企画段階か ら参画できる体	的に事業の企画段階から参画す	成果指標は計画 値を達成し、厳	職人集企こ通さるも と はい い ・ は の 運 、 郷 認 と じ を 機 は の 運 、 郷 認 を は の で る で る で っ で っ で っ で っ で っ で っ で っ で っ	成果指標は計画 値を達成し、厳									
	評			制を維持しなが	る体制を維持し	粛な式典と世話	ことは、交流を	粛な式典と世話									
	価			ら実施できてい る。	た。新型コロナウイルス感染症	人の企画による 交流を诵じて.	通じて郷土の艮 さを再認識でき	人会の企画によ る交流を诵じ									
	答 内 容			新型コロナウイ	の影響からか成	故郷砂川を再認	る機会となって	て、故郷砂川を									
			総合評価の判断	■ル人恐栄狂の彰	未拍標は計画値	諏じさる場を掟	おり、地元への 愛着心を深める	井認誠じさる懱									
	事		の実績値に関す	成人式を延期し	が、成人同士の	きた。	ことに一定の成	とができた。									
			る自己分析	■実施した。活動 指標の計画値	つながりを再確認し、 地元への		果があった。 参加者の出欠確										
:	業			は、第73回、第	認し、地元への 愛着心を深める ことができた。		認をハガキから										
				74回成人式とも 計画値を達成し	ことができた。		二次元コードに 変更し、経費の										
	评			た。成果指標の			縮減を図られ効										
				実績値は第73回 成人式は計画値			率性は若干上 がっており、総										
				を下回った。			合評価は「良好										
							である」と判断 した。										
							0/20										
		A ///	0 ± ± ±				現状の土土物は										
		今後(の方向性 	DE .			現状のまま継続	R8 :				P10 .					
				R5: 成人が世話人会?	を組織し、主体的	に参画・運営する	成人式(はたち	NO:				R10 :					
				の集い)は地域・	ぐるみで成人の人	生の節目を祝福す	る機会となって										
					を再認識できる場 「現状のまま継続		、引き続き放人										
		性の判 、改革		I													
		f、以中 5、R8、															
				I													
				I													

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	子ども職場体	験推進事業			事業期間	平成	28年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-4	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	児童期からの職業	美や仕事に対する!	意識付けをし、キ	ャリア教育の推	- 進、家庭教育支援 <i>σ</i>)推進を図る。		手段 (どのような方法で 実現するのか)	家庭教育サポート	ト企業の協力を得	て、低学年、中・	高学年ごとに職場	易の見学や簡単な 割	業務や作業を体験する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	小学生							成果 (どのような効果が 得られるのか)	事業参加者が楽し	しく参加できたと	評価される事業内	容にすることによ	こり、職業や仕事(に対する関心が深まる。
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成28年度から小	小学生を対象に事業	きを開始している	る。また、中学校に	おけるインタ-	ーンシップ等につい	っても要請に基づき	職場の選定等協力	力を行っている。				

[DO]

実績

					第1次実施3カ年計画				第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額	46, 000	46, 000	46, 000	138, 000	23, 000	,	23, 000	69, 000	23, 000	23, 000	23, 000	23, 000	92, 000	299, 000
			予算計上額	47, 000	52, 000	30, 000	129, 000	23, 000			71, 000					0	200, 000
			実 績 額	0	24, 000	4, 994	28, 994	4, 416			4, 416					0	33, 410
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
A	そ	の他	計画額				0				0					0	0
ż			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額			42, 900	42, 900				0					0	42, 900
れ	- f	段 財源	計画額	25, 000			75, 000	12, 000	12,000	12, 000	36, 000	12, 000	12, 000	12, 000	12, 000	48, 000	159, 000
た			予算計上額	24, 000	27, 000		112, 000	12, 000			37, 000					0	149, 000
/-			実 績 額	0	22, 530		26, 236	4, 484			4, 484					0	30, 720
事	事業	養合計		71, 000	71, 000	71, 000	213, 000	35, 000	35, 000	35, 000	105, 000	35, 000	35, 000	35, 000	35, 000	140, 000	458, 000
			予算計上額	71, 000	79, 000	91, 000	241, 000	35, 000	73, 000	0	108, 000	0	0	0	0	0	349, 000
業			実 績 額	0	46, 530	51, 600	98, 130	8, 900	-	0	8, 900	0	0	0	0	0	107, 030
費				バス借上料 71千	バス借上料 79千	バス借上料 91千		バス借上料 35 千円	バス借上料 /3 千円								
	事業	費予算の		円 "	円	円		'''	1								
の		内容															
推																	
100				バス借上料の増	バス借上料の増	職場体験活動を		事業回数減によ	事業回数増によ								
移	前年	度予算と		, ,, (III — 1/10)-II	· · › (1 - 1 0 > - 1	市外への施設見		るバス借上料の									
	H11	り比較				学の活動に変更		減									
	(増	減理由)				したため											
				新型コロナウイ	移動方法をバス	冬季の職場体験		バスからタク									
	実績	との比較		ルスの影響によ り事業が中止と	からタクシーに 変面 ト分減類	の移動万法をバスからなった。		シーに変更した ことによる車借									
	(増	減理由)		なり支出なし	久丈 したカ 成領	に変更したこと		上料の減									
						による減											

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:事業参加人数	指標の求め方: 3	事業参加人数								
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名:事業の満足度	指標の求め方:	指標の求め方:参加者アンケートで「とても楽しかった」、「楽しかった」たと回答した参加児童の割合								
	第 1 次実施 3 力年計画		第2次実施3カ年計画	第3次実施4カ年計画	第 7 期						

					第 1 次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画		第3次実施4カ年計画					
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	-41	活動指標 1 (単位/人)	計画値	40			L	40 18	40	40		40	40	40	40		
	指標	成果指標 1	実績値計画値	— 100	20 100	22 100		100	100	100		100	100	100	100		
		(単位/%)	実績値	_	100	100		100									
		事業の達成度 (活動指標を:					ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標を:	もとに評価)				上がっている										
		事業の効率性					変わらない										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容	理由の実		得業新ル響なもに 実しコ感よたに を型スにった を はいナ症中め は たた 該 生 を を を を を を を を を を を を を を り に り に り に	ル響庭企て2と動計な成て成成をある。というでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	度もをた内をめすい成値様しる機キ家よの達。容談計る。果を々て意会や底め、ローよて値は「標成体事をなて競とり教の、ローよて値は「標成体事をなて育りを難」はし験に高り教ののは一は、一般に高り教の、育社の人間が、一般に高いる達し、一般に高り教の、育社の人間が、一般に高いる達し、一般に高いる。	判新ル響標ば成値期事付り進援のた効は伴補経図を評あた断型スにはな異をかにけア、の成。率、う助費の路価る。出口染り画っ標成職すし育庭進が に場借を縮いえ「と由口染り画っ標成職すし育庭進が に場借を縮いえ「と出口染り画っ標成職すし育庭進が に場借を縮いえ「とは正法値にはし業る、の数にあ つ体上活速る、良判別が計児や意キ推育一っ い験料用を公検好断で設備が計児や意キ推育一つ い験料用を設けませた。	企慮夏2た回め画か能れらは員がちい成値様しる業し季回とに活値っなて計難をあの。果を々て意状こ冬施ろら指達。数る値いえ子心 標成体事をおの、・実こ減動をた人い画し起り関 指達なて意いませい。 はいい はいい はい はい と はい と はい と はい と はい と は	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			R5: 今後キャリア教育がより一層重視されていくことを踏まえ「現状のまま継続」とする。 理由 内容				R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載

事 業 名	地域サークル	·活動推進事業	ŧ		事業期間	_	年度 ~ —	年度						<u> </u>	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	3-3-4	他に関連する 基本事業	6-2-1	-				所管課係	社会教育課社会教育係	
目的 (何のために実施する のか)	各学校区を中心 と 理」しながら地域	とした住民が「コ 或のつながりを持	ミュニケーション つことで、子ども	を図る場」として を育てるより良い	- て学校の施設を有効 い環境づくり、また	かに活用し、「 :生涯学習の推	自主運営・自主管 進を図る	手段 (どのような方法で 実現するのか)	開設時間 原						
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	学校を中心にī る。	市民が集い、交流を	深めることで、地	地域の教育力が高ま	⊧り、地域で子ど ∶	もを育てる環境づくりが整備され	
事業開始時の状況 緯	これまでの経	平成13年度からこ	コミュニティ・スク	フール事業実施要	領に基づき、コミ	ュニティ・スク	賞費(1回1,500円) クール運営委員会を 議員制度から学校運	すべての小中学校	(7校)に設置し	自主運営・自主管理 通称を「コミュニテ	型で実施している。 ィ・スクール」と	したことに伴い、	「地域サークル流	S動」に事業名称を変更し実施して	

[DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画		第3次実施4カ年計画					
	第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
国 費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
美額 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額				0				0					0	0
を 予算計上額 また を を を を を を を を を を を を を を を を を を				0				0					0	0
大快饭				0				0					0	0
事業費合計 計 画 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費														
事業費予算の														
の内容														
推														
移业与中国统工														
前年度予算との比較														
(増減理由)														
実績との比較 (増減理由)														
(10 MX-22 LD /														
					II .									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:利用団体数	指標の求め方:	標の求め方:学校開放使用許可団体の数								
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:年間延べ利用者数	指標の求め方:4	標の求め方:年間延べ利用者数								
	第1次実施3カ年計画		第2次実施3カ年計画	第3次実施4力年計画	第 7 期						

					第1次実施	[3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年記	计画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画 合 計
	T	ver stille iss.	! =1 == /±	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	
	指	活動指標 1 (単位/団体)	計画値実績値	27 25		27 19		22	27	27		<u> </u>	·				
	標	成果指標 1	計画値	15, 900	15, 730	15, 570		14, 090	13, 920	13, 750		_	_	_	_		
		(単位/人)	実績値	8, 129	12, 433	10, 039		13, 838									
		事業の達成度 (活動指標をも	とに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					少し上がっている										
		事業の効率性(事業費に対す	る成果)				変わらない										
		総合評価					良好である										
事務事業評価	評価内容	理由ま	平価の判断 たは指標 賃値に関す 分析	ル響体あ成値回年用用に、性利滑いでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	感染症対策を行いながら活動は 円滑に展開でき	ナ活影動標をた利し学に住ケるどで活動がも標を使用で校活民一場も異動が程と遠、用て校活民一場のシとか年の経低あ、にし 数る設しコョしら齢場を低あ、にし 数る設しコョしら齢場をした活指値つ 少の効域二図子ま習て会た活指値つ 少の効域二図子ま習て会た活指値つ	ル響標も回のを「主らりも良と進ル警標も回のを「主らりも良と進いといっ、有自管地をを現理一、思い、計・で勢主理域持育環里のおで境学定・は、一、るが習り、名が習り、名が習り、名が習り、名が習り、名が習り、といい、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	度民活ケるにをのる成値のき域ニ場大でのなをが用一場取求と。果にのく住ケ、人集場とりに学しシ、りめ考 指届前上民一子まうと割した 標か年回のシどで生しをいたことを学機るれ 計いを、ミンか年学重といる はな度りココも異涯で果たった。この年学生のよいないない。	自己分析:	自己分析:	判斷理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		全後の士向供					現状のまま継続										
		今後の方向性		R5 ·				R8 :				R10 :					
	改善、	R5: 学校を中心に市民が集い、交流を深めることで地域の教育力が高まり、地域で子どもを育てる環境づくりを推進するため「現状のまま継続」とするが、令和8年度の学校統合に伴う閉校後の各サークル活動について意向を調査し、検討を進める必要がある。 「時性の判断理由					iko :				K1U :						